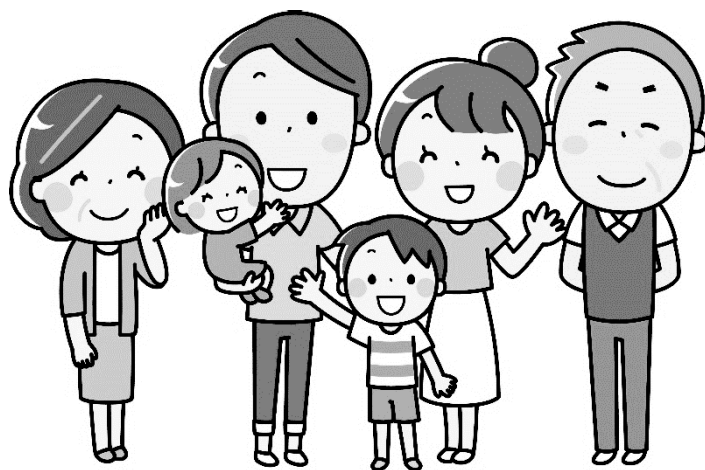


新宿区次世代育成支援に関する調査 報告書（概要版）



平成31（2019）年3月
新宿区

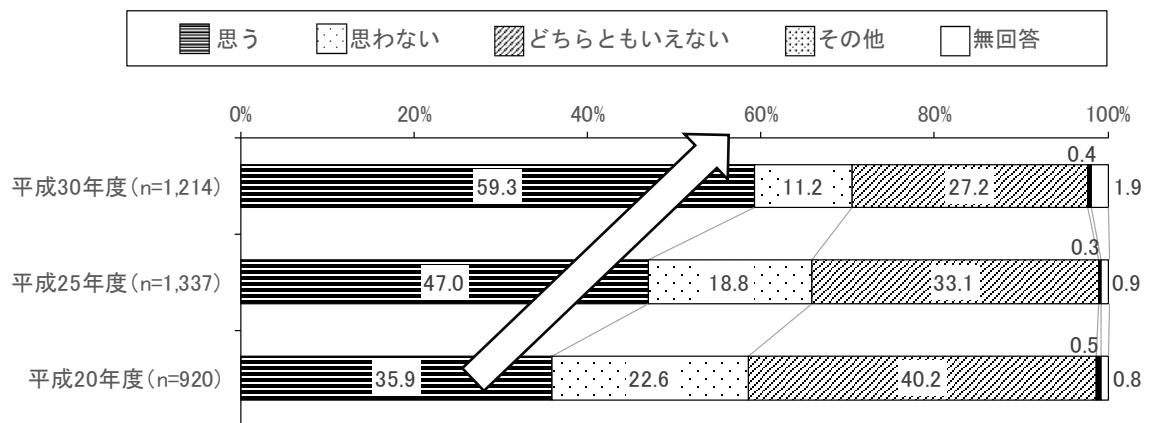
さらに

◆新宿区を子育てしやすいまちだと思う人が増えました◆

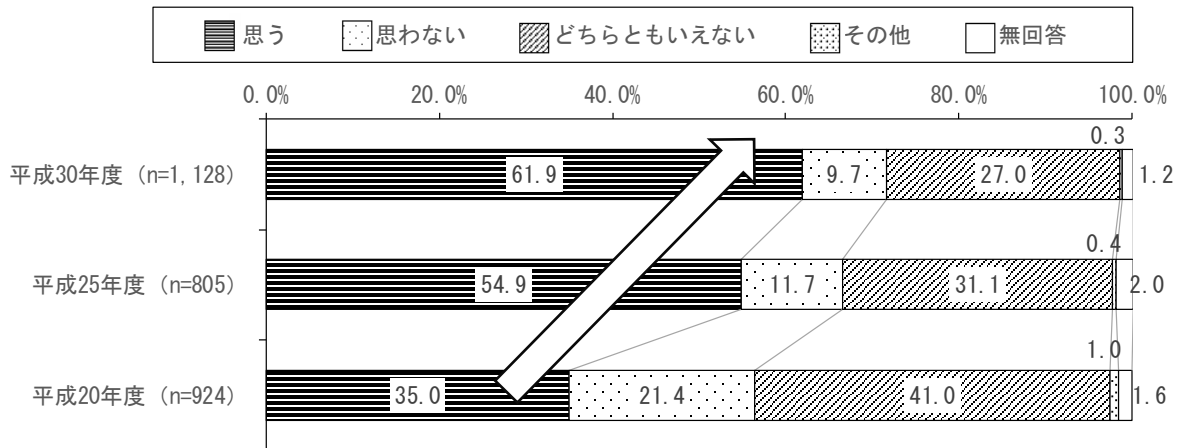
新宿区を「子育てしやすいまちだと思う」と回答した人は、就学前児童保護者で59.3%、小学生保護者で61.9%となっており、前回（平成25年実施）、前々回調査（平成20年実施）と比較して増加しています。

☆ 子育てしやすいまちだと思う理由は2ページに掲載

図表1 新宿区の子育て環境評価（就学前児童保護者）＜経年比較＞



図表2 新宿区の子育て環境評価（小学生保護者）＜経年比較＞



◆新たに小学5、6年生及び小学5、6年生保護者調査をしました◆

子ども本人の意識や考え、日常の生活を聞くため、前回と前々回は、中学生と青少年を対象に調査を行いましたが、今回、さらに対象を広げ、小学5、6年生にも調査を行いました。また、その保護者に対する調査も実施しました。

☆ 調査結果は20ページから掲載

◎ 調査の概要

● 調査設計

- (1) 調査地域 新宿区全域
- (2) 標本抽出 住民基本台帳から年齢別に無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送法（郵送配布—郵送回収法・はがきによる再依頼を1回）
- (4) 調査期間 平成30年11月13日（火）～11月30日（金）
- (5) 調査種類と調査対象

調査種類	対象者
就学前児童の保護者調査	区内在住の就学前児童の保護者
小学生の保護者調査	区内在住の小学校1年生から小学校6年生の保護者
小学生の日常生活と意識に関する調査	区内在住の小学校5年生及び小学校6年生
小学5、6年生の保護者調査	区内在住の小学校5年生及び小学校6年生の保護者
中学生の日常生活と意識に関する調査	区内在住の中学校1年生から中学校3年生
中学生の保護者調査	区内在住の中学校1年生から中学校3年生の保護者
青少年の日常生活と意識に関する調査	15歳から17歳までの区民
若者の意識調査	18歳から39歳までの区民

● 回収結果

	対象者数	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者調査	2,500	1,214	48.6%
小学生の保護者調査	2,200	1,128	51.3%
小学生の日常生活と意識に関する調査	800	293	36.6%
小学5、6年生の保護者調査	800	342	42.8%
中学生の日常生活と意識に関する調査	800	282	35.3%
中学生の保護者調査	800	345	43.1%
青少年の日常生活と意識に関する調査	1,000	291	29.1%
若者の意識調査	1,200	256	21.3%
合計	10,100	4,151	41.1%

◎ 報告書の見方

- 1 基数となるべき実数（n [number of cases の略]）は、設問に対する回答者数です。
- 2 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が100%にならない場合があります。
- 3 図表作成の都合上、選択肢表記や回答の小さい比率は、短縮・省略している場合があります。

◎ 就学前児童保護者・小学生保護者・中学生保護者調査の結果

1 新宿区での子育てについて

就学前児童
保護者

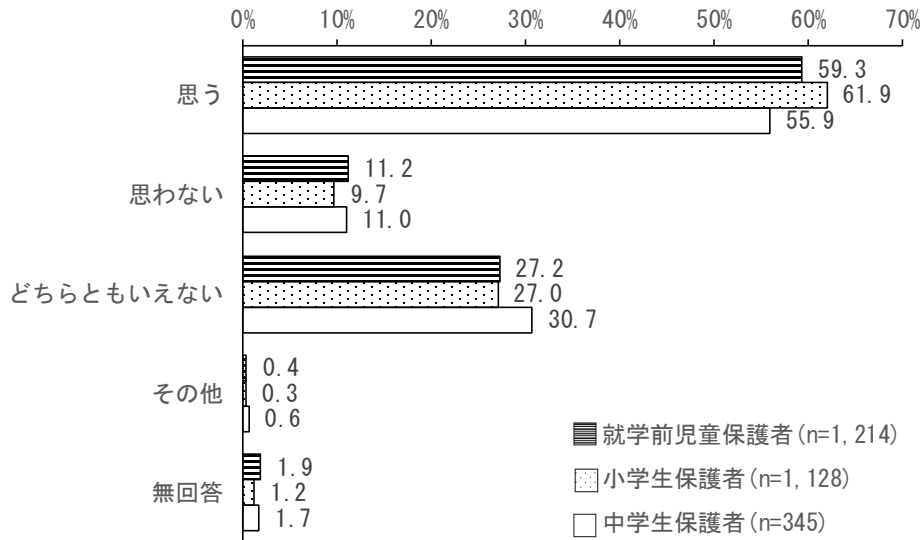
小学生保護者

中学生保護者

新宿区が「子育てしやすいまちだ」と回答した人は、就学前児童保護者で59.3%、小学生保護者で61.9%、中学生保護者で55.9%となっています。

その理由では、「交通機関が便利である」「住環境が良い」が多くなっています。そのほか、就学前児童保護者については「認可保育所、認定こども園、幼稚園等が利用しやすい」などの子育て環境が充実していることが挙げられています。

図表3 新宿区は子育てしやすいまちだと思うか（就学前児童保護者・小学生保護者・中学生保護者）



図表4 子育てしやすいまちだと思う理由（複数回答（3つまで）、上位5項目）

順位	就学前児童保護者 (n=720)	
1	交通機関が便利である	61.3%
2	認可保育所、認定こども園、幼稚園等が利用しやすい	40.1%
3	住環境が良い	39.4%
4	公園や児童館など子どもの遊び場が多い	32.5%
5	職場と住居が近い	29.2%
小学生保護者 (n=698)		
1	交通機関が便利である	71.9%
2	住環境が良い	40.3%
3	図書館や体育館・グラウンドなどの公共施設が利用しやすい	36.5%
4	職場と住居が近い	27.7%
5	保育サービスが充実している	25.9%
中学生保護者 (n=193)		
1	交通機関が便利である	73.6%
2	住環境が良い	43.0%
3	職場と住居が近い	28.5%
4	図書館や体育館・グラウンドなどの公共施設が利用しやすい	23.8%
5	自然環境が良い	17.6%

2 新宿区での子育て継続意向

就学前児童
保護者

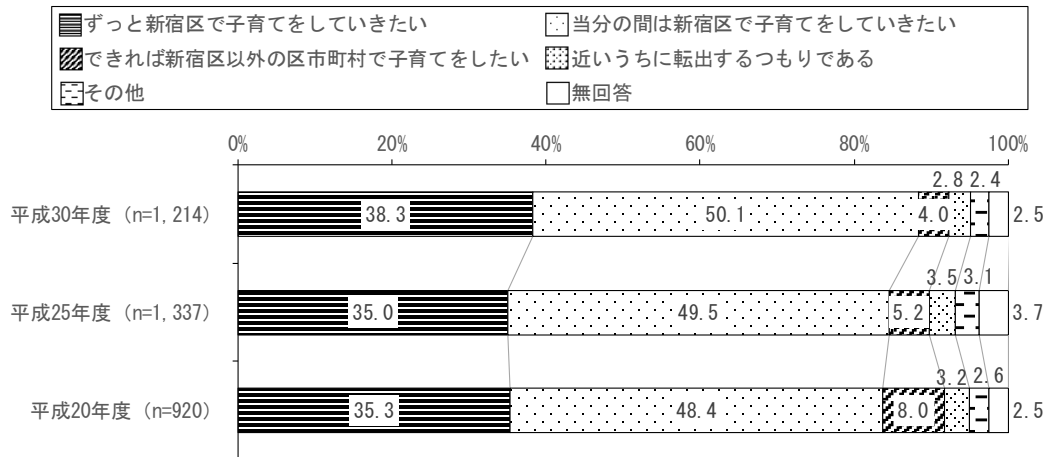
小学生保護者

中学生保護者

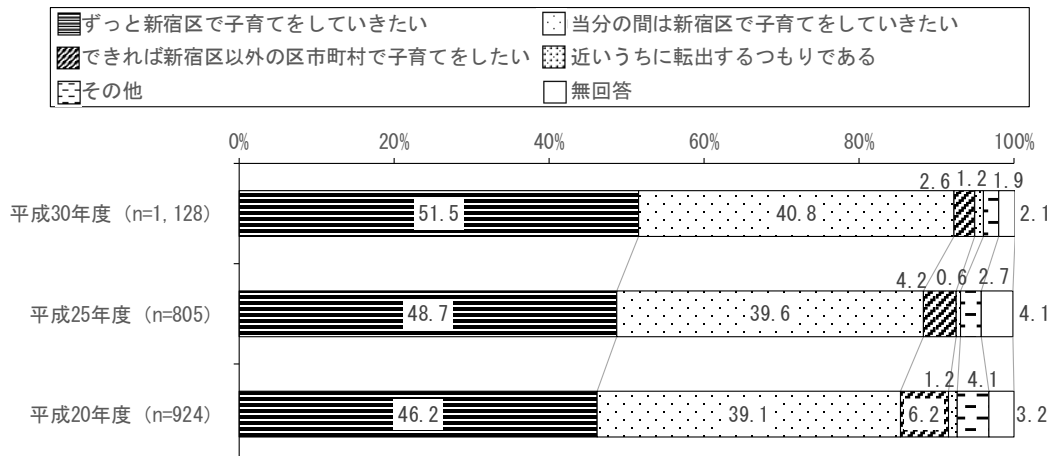
新宿区での子育て継続意向については、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」が就学前児童保護者で38.3%、小学生保護者で51.5%、中学生保護者で53.3%となっています。

また、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」と「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」を合わせた『新宿区で子育てをしていきたいと答えた人』は、就学前児童保護者、小学生保護者で前回、前々回調査よりも多くなっています。

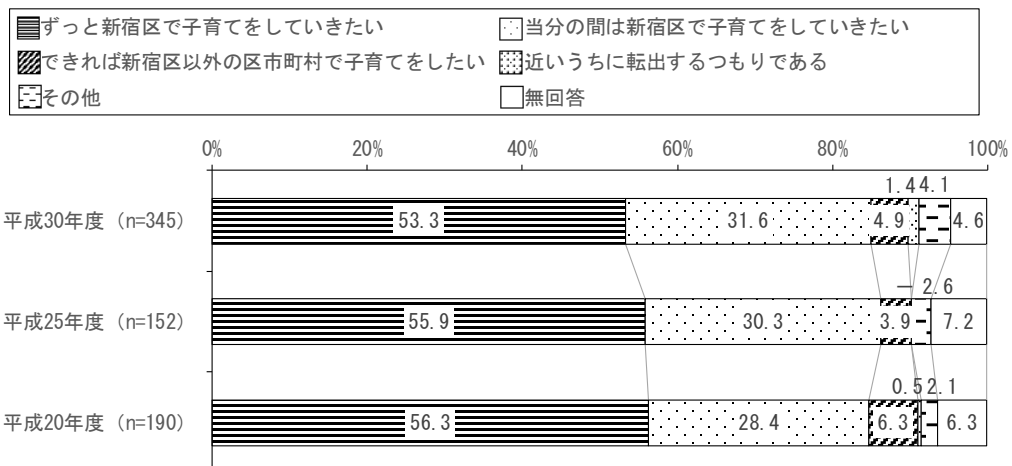
図表 5 新宿区での子育て継続意向（就学前児童保護者）＜経年比較＞



図表 6 新宿区での子育て継続意向（小学生保護者）＜経年比較＞



図表 7 新宿区での子育て継続意向（中学生保護者）＜経年比較＞



3 子どもを育てやすい社会に必要なこと

就学前児童
保護者

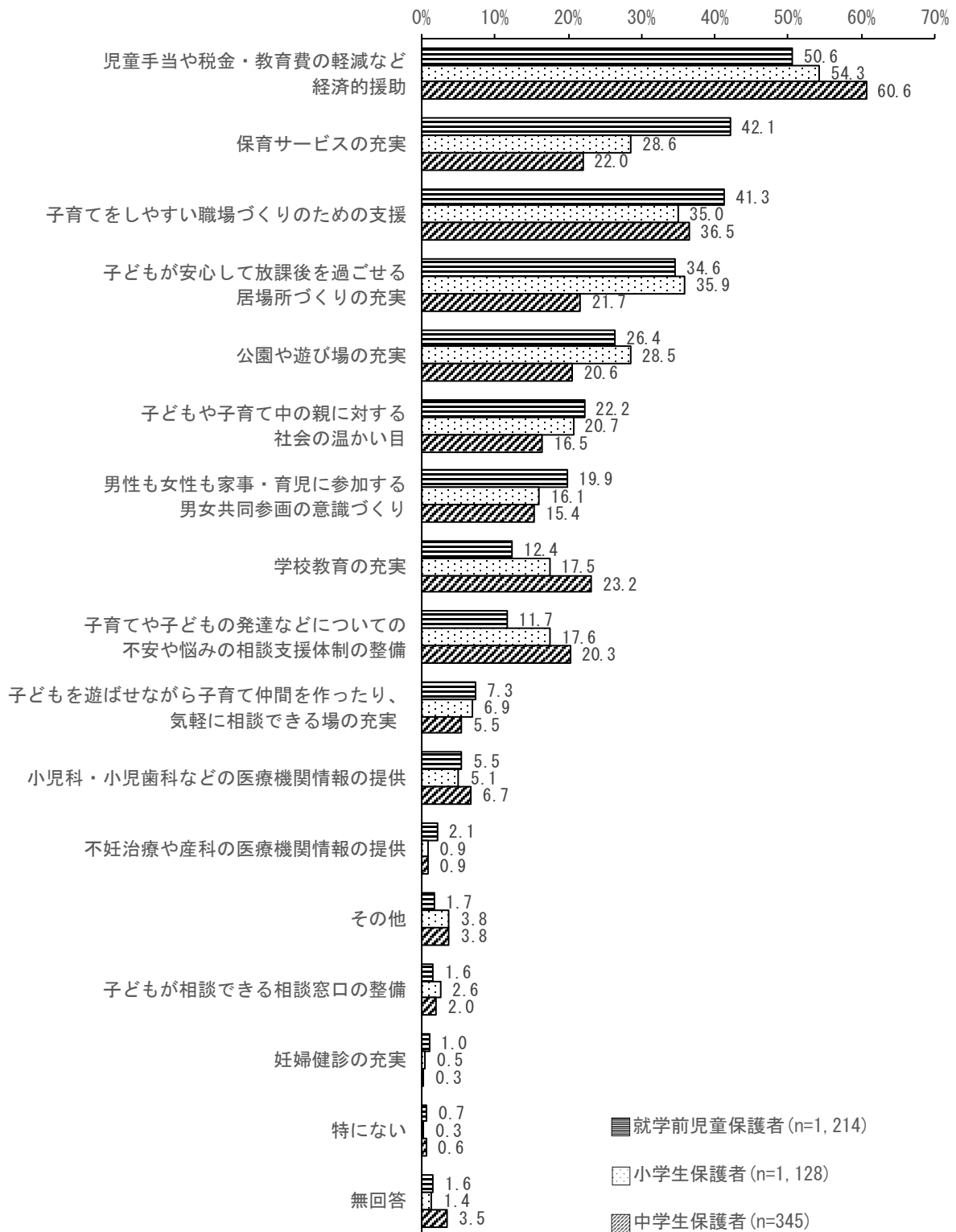
小学生保護者

中学生保護者

子どもを育てやすい社会に必要なことについては、「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が、就学前児童保護者で50.6%、小学生保護者で54.3%、中学生保護者で60.6%と最も多くなっています。

図表 8 子どもを育てやすい社会に必要なこと（就学前児童保護者・小学生保護者・中学生保護者）

（複数回答（3つまで））



4 子育てが楽しいか

就学前児童
保護者

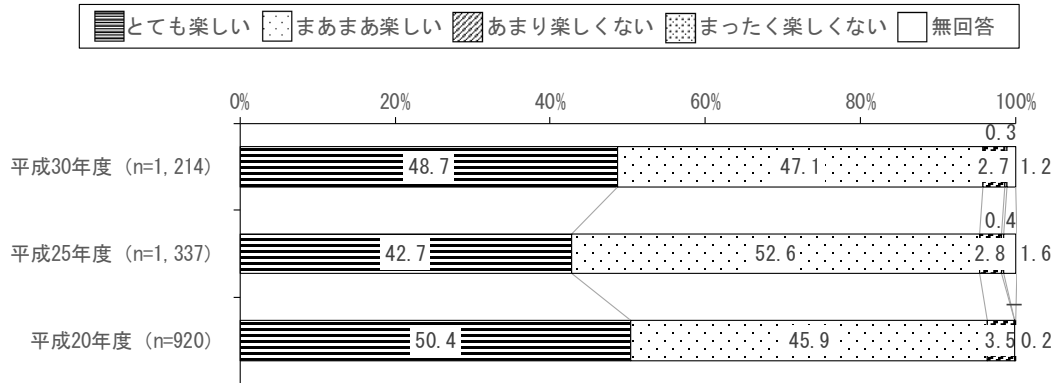
小学生保護者

中学生保護者

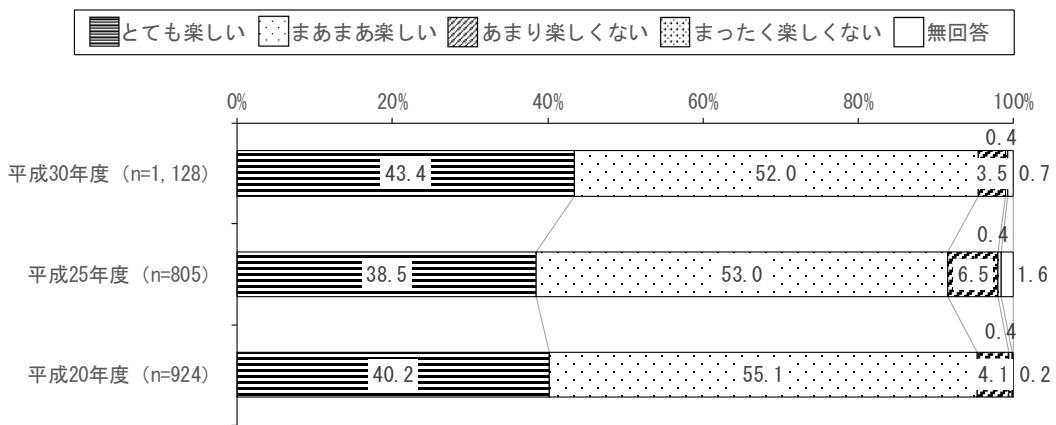
子育てが楽しいかについて、「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」との合計は、就学前児童保護者で95.8%、小学生保護者で95.4%、中学生保護者で94.2%となっています。

また、就学前児童保護者、小学生保護者、中学生保護者すべてで、「とても楽しい」が前回調査と比較して増えています。

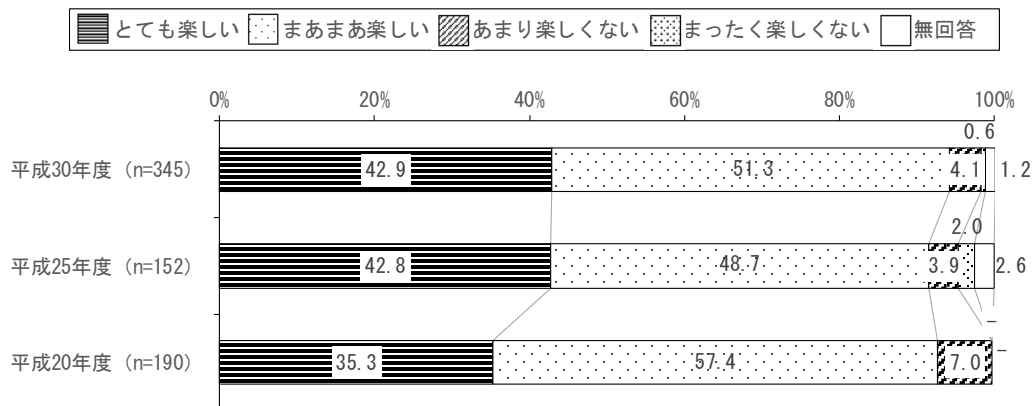
図表 9 子育てが楽しいか（就学前児童保護者）＜経年比較＞



図表 10 子育てが楽しいか（小学生保護者）＜経年比較＞



図表 11 子育てが楽しいか（中学生保護者）＜経年比較＞



5 子育てが辛いと思うことがあるか

就学前児童
保護者

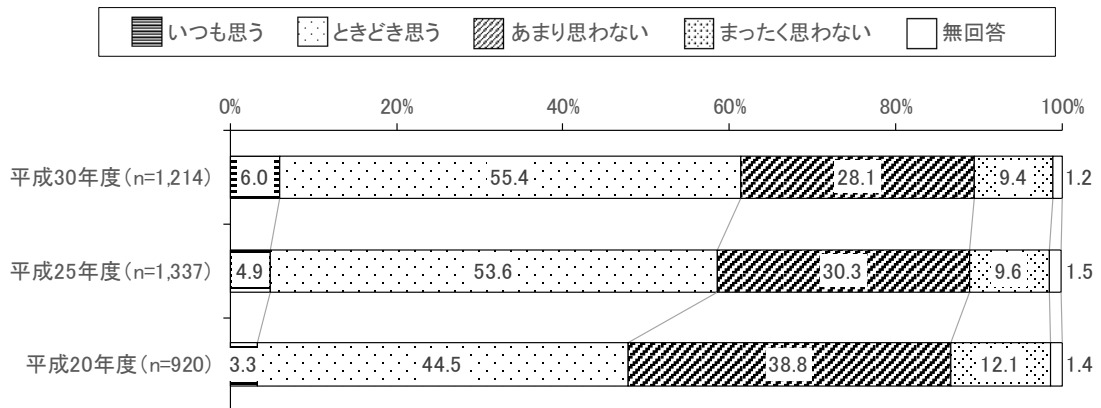
小学生保護者

中学生保護者

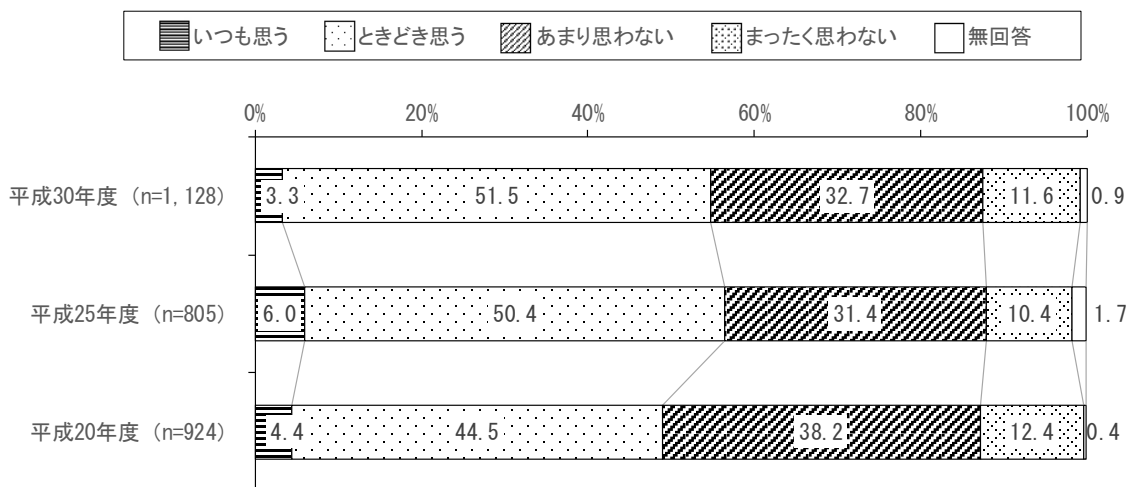
子育てが辛いと思うことがあるかについて、「いつも思う」と「ときどき思う」との合計は、就学前児童保護者で61.4%、小学生保護者で54.8%、中学生保護者で46.3%となっています。

また、「まったく思わない」は、就学前児童保護者で9.4%、小学生保護者で11.6%、中学生保護者で15.1%と、子どもの年齢層が上がるごとに上昇傾向が見られます。

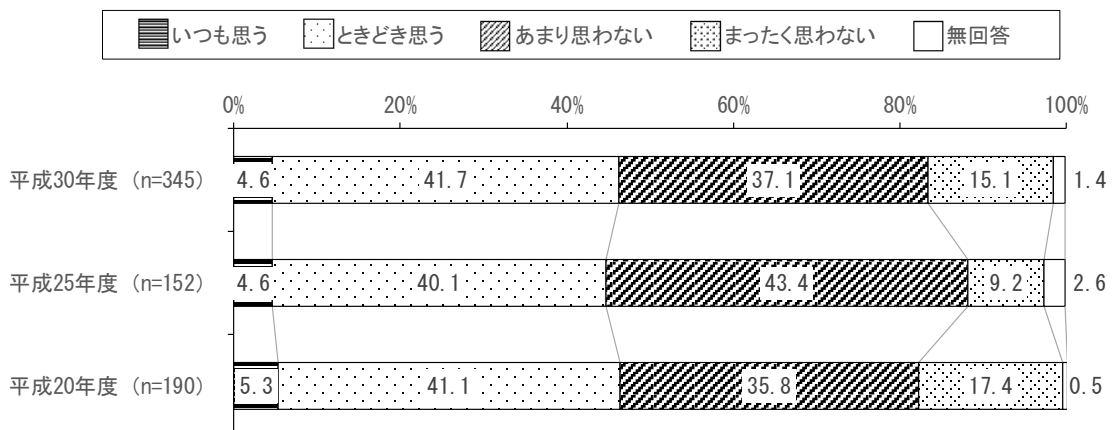
図表 12 子育てが辛いと思うことがあるか（就学前児童保護者）＜経年比較＞



図表 13 子育てが辛いと思うことがあるか（小学生保護者）＜経年比較＞



図表 14 子育てが辛いと思うことがあるか（中学生保護者）＜経年比較＞



就学前児童保護者の子育てに関する悩みについて、子育てのつらさ別で見ると、子育てがつらいと「いつも思う」人は、「子どもの遊ばせ方や、しつけについて」「子育てが精神的な負担になっていること」「仕事や自分のことが十分にできないこと」を悩む割合が多くなっています。

図表 15 子育てがつらいと思うことがあるか（就学前児童保護者）＜子育てのつらさ別＞

(96)

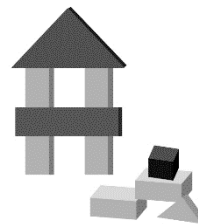
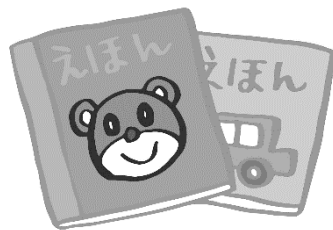
	回答者数 (人)	合計 (n)	子どもの発達 について	子どもの病 気について	子どもの食 事や栄養 について	子どもの遊 ばせ方や、 しつけにつ いて	子育て仲間 がいないこ と	専門的な相 談先がわ からないこ と	保 育 情 報 や 地 域 の 子育て情報 が得にくい こと	子育てが精 神的な負担 になっている こと	子育てが経 済的な負担 になっている こと	子どもとの 時間が十 分にとれな いこと	
全 体	1,214	3,442	16.6	10.0	24.3	48.1	6.4	4.4	5.7	11.4	9.5	25.9	
子 育 て が つ ら い と 思 う こ と が あ る か	いつも思う	73	376	30.1	21.9	30.1	63.0	8.2	13.7	15.1	57.5	27.4	30.1
	ときどき思う	672	2,102	19.2	9.8	27.2	55.4	7.7	4.3	5.4	13.2	11.9	27.5
	あまり思わない	341	722	11.1	10.0	21.1	38.1	5.0	3.2	4.1	1.5	3.2	23.5
	まったく思わない	114	196	5.3	3.5	12.3	26.3	1.8	2.6	5.3	—	2.6	21.1
	回答者数 (人)	合計 (n)	子どもへの 接し方がわ からないこ と	子育てに自 信が持たな いこと	子育てで配 偶者と意見 があわない こと	子育てにつ いて配偶者 の関わり方 が少ないこ と	仕 事 や 自 分のことが 十分にでき ないこと	子育てにつ いて、まわ りからのど ような思わ れているか 気になるこ と	緊 急 時 に 子どもを見 てくれる人 がいないこ と	その他	特に悩んで いることは ない	無回答	
全 体	1,214	3,442	4.7	14.5	8.2	10.9	28.3	5.9	27.4	5.8	13.8	1.6	
子 育 て が つ ら い と 思 う こ と が あ る か	いつも思う	73	376	17.8	39.7	12.3	27.4	50.7	16.4	32.9	15.1	4.1	1.4
	ときどき思う	672	2,102	5.4	19.2	10.0	12.8	32.3	7.0	31.1	4.8	7.0	1.6
	あまり思わない	341	722	1.5	3.2	4.7	6.7	21.4	3.2	21.7	6.5	21.1	0.9
	まったく思わない	114	196	1.8	3.5	3.5	2.6	12.3	0.9	21.1	5.3	39.5	0.9

(注) 網がけは 40%以上のもの

(注) 「子育てに関して悩んでいること」は複数回答である

(注) 上部分の項目（表題：分析の対象となる質問項目）、表の左側部分の項目（表側：分析の軸）で構成している

(注) 表側の「無回答」を除く



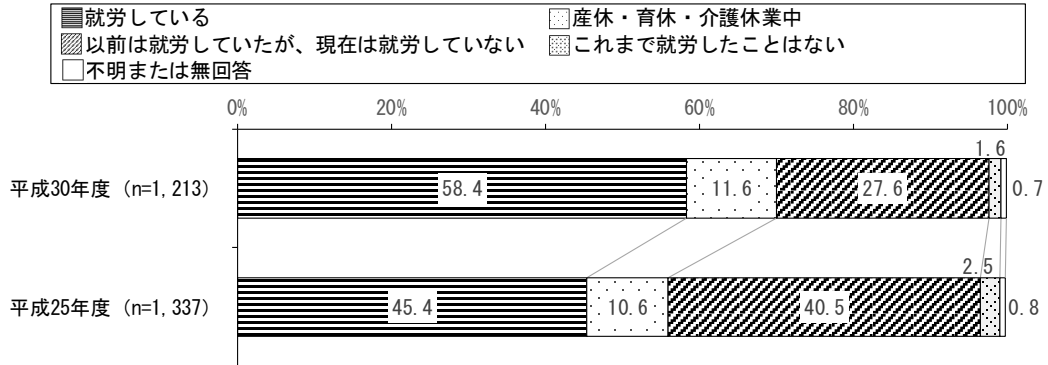
6 就労状況

就学前児童
保護者

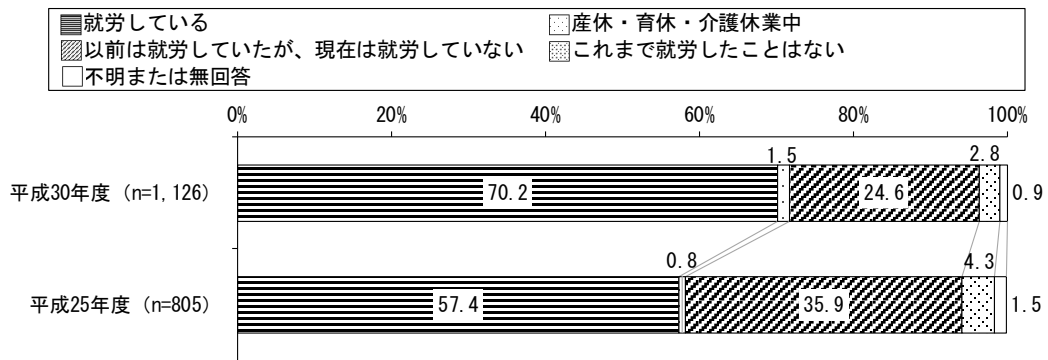
小学生保護者

母親の就労状況は、「就労している」が就学前児童保護者で58.4%、小学生保護者で70.2%と最も多く、いずれも、前回、前々回調査と比較して増えています。

図表 16 母親の就労状況（就学前児童保護者）＜経年比較＞



図表 17 母親の就労状況（小学生保護者）＜経年比較＞

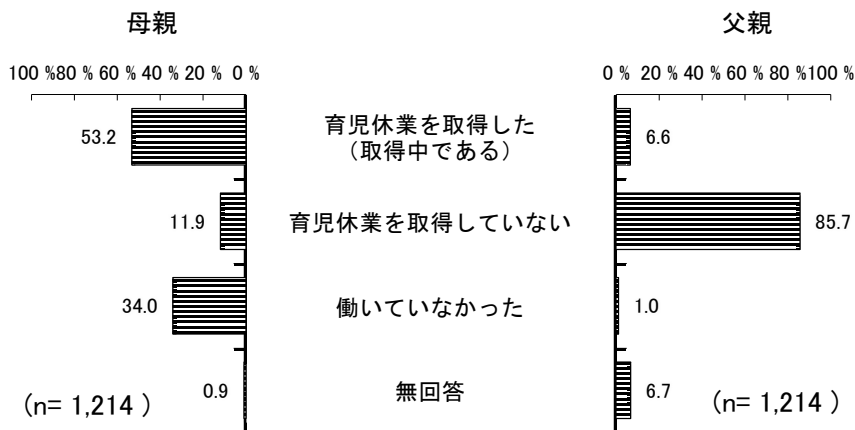


7 育児休業取得状況

就学前児童
保護者

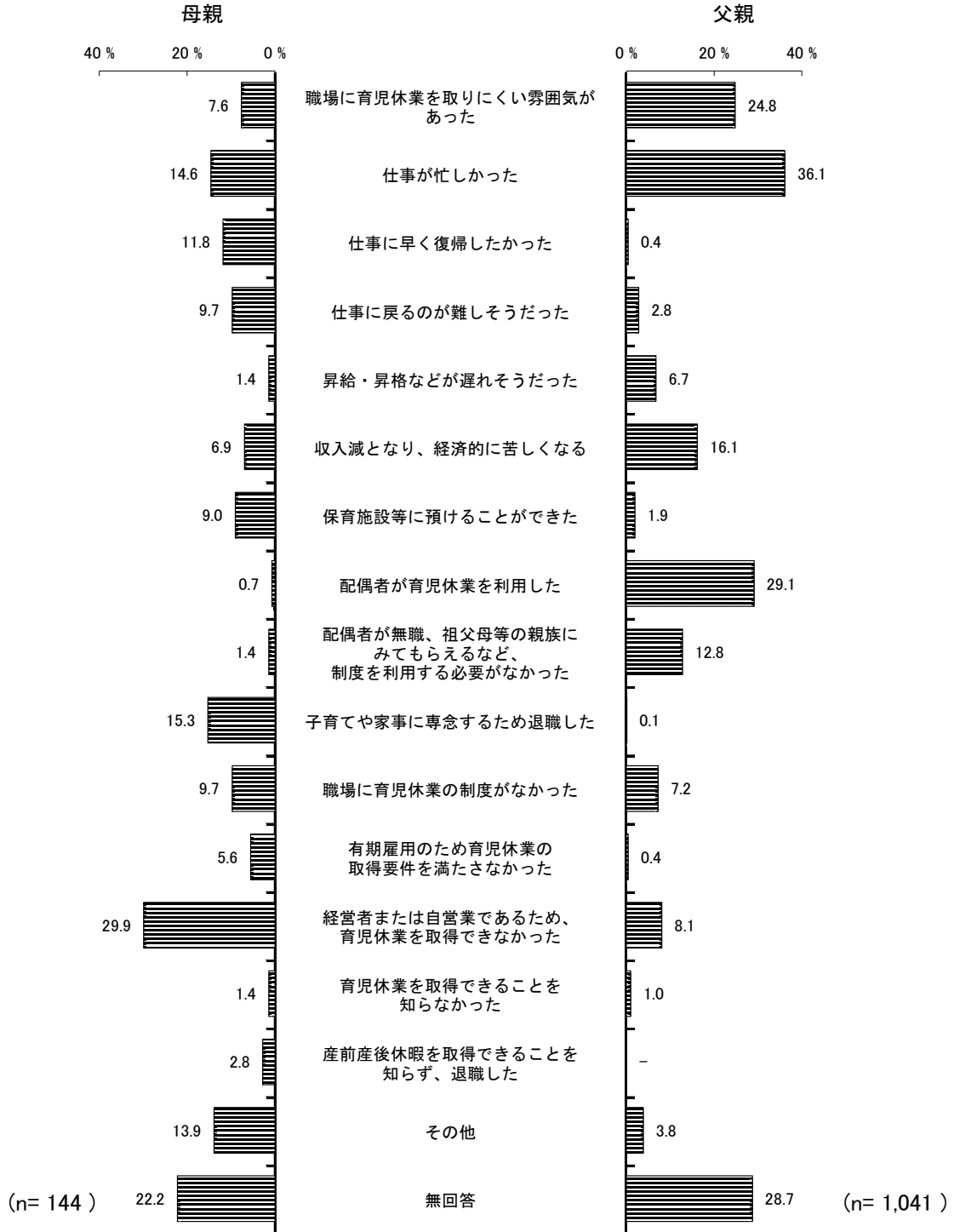
育児休業の取得状況について、就学前児童保護者の母親では「取得した（取得中である）」53.2%が最も多くなっています。また、父親では、「取得していない」85.7%が最も多くなっています。

図表 18 育児休業取得状況（就学前児童保護者）



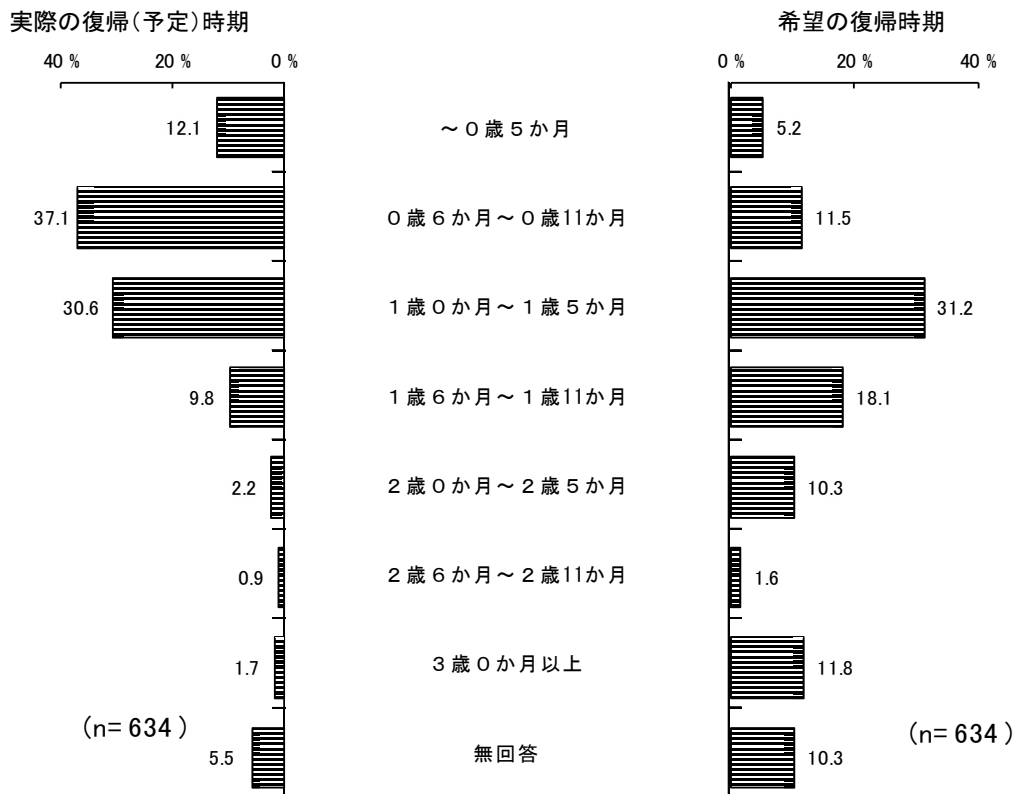
育児休業を取得していない理由は、母親は「経営者または自営業であるため、育児休業が取得できなかった」29.9%が最も多くなっています。また、父親は「仕事が忙しかった」36.1%が最も多くなっています。

図表 19 育児休業を取得していない理由（就学前児童保護者）（複数回答）



育児休業からの復帰時期について、実際の時期は「0歳6か月～0歳11か月」37.1%が最も多く、希望の時期は「1歳0か月～1歳5か月」31.2%が最も多くなっています。

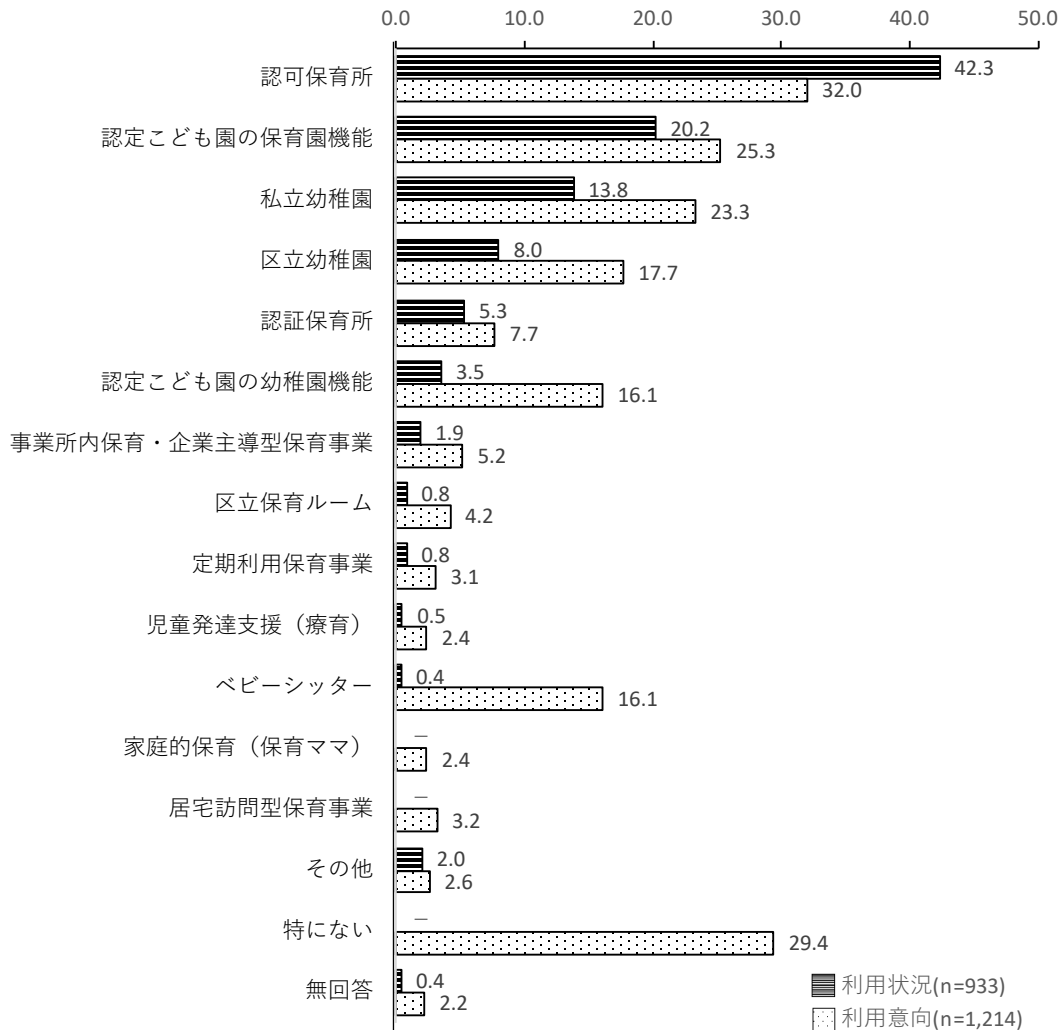
図表 20 育児休業から復帰した実際の時期希望の時期（就学前児童保護者）



就学前児童保護者の平日の定期的な教育・保育事業利用状況については、「認可保育所」42.3%が最も多く、「認定こども園の保育園機能」20.2%、「私立幼稚園」13.8%が続いています。

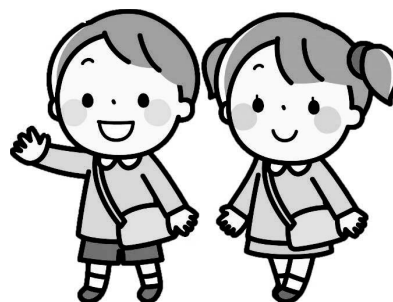
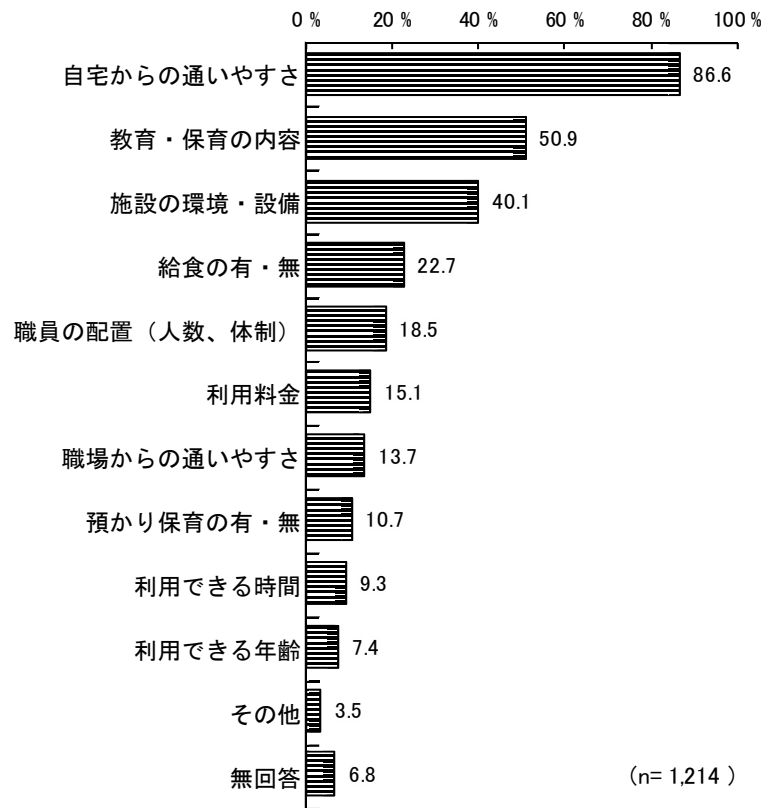
また、利用意向については、「認可保育所」32.0%が最も多く、「特にない」29.4%、「認定こども園の保育園機能」25.3%が続いています。

図表 21 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況及び利用意向（就学前児童保護者）（複数回答）



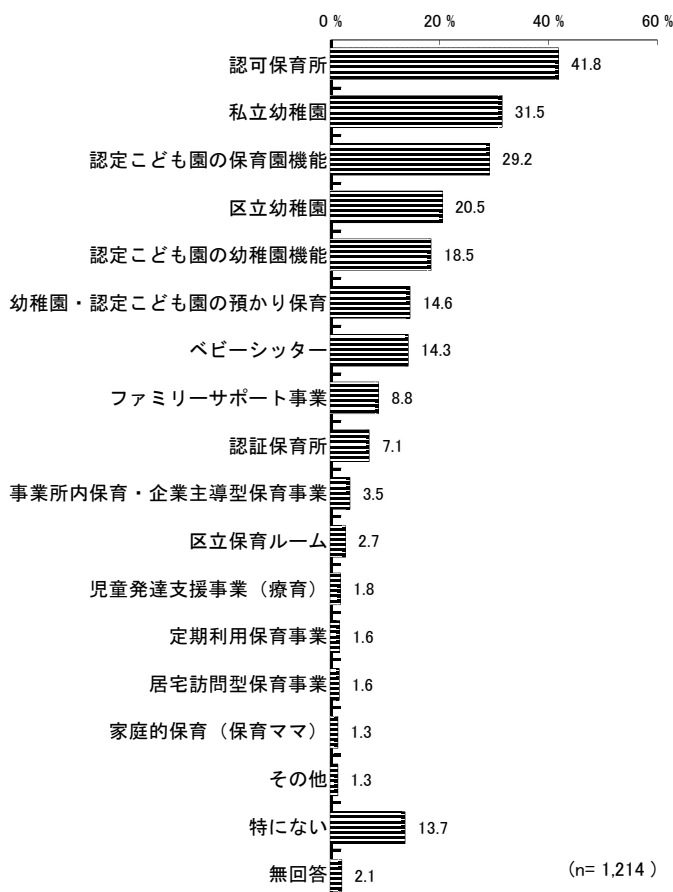
認可保育所、認定こども園、幼稚園等を選択する際に考慮する点については、「自宅からの通いやすさ」86.6%が最も多く、「教育・保育の内容」50.9%、「施設的环境・設備」40.1%が続いています。

図表 22 事業を選択する際に考慮する点（就学前児童保護者）（複数回答（上位3つまで））



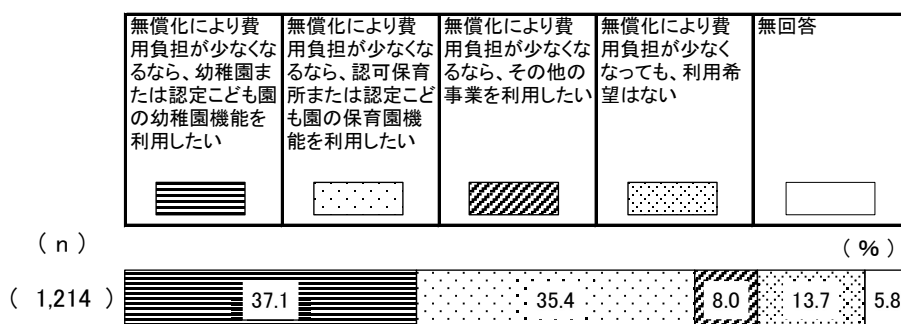
無償化実施後に利用したい平日の教育・保育の事業については、「認可保育所」41.8%が最も多く、「私立幼稚園」31.5%、「認定こども園の保育園機能」29.2%が続いています。

図表 23 無償化実施後に利用を希望する事業（就学前児童保護者）（複数回答）



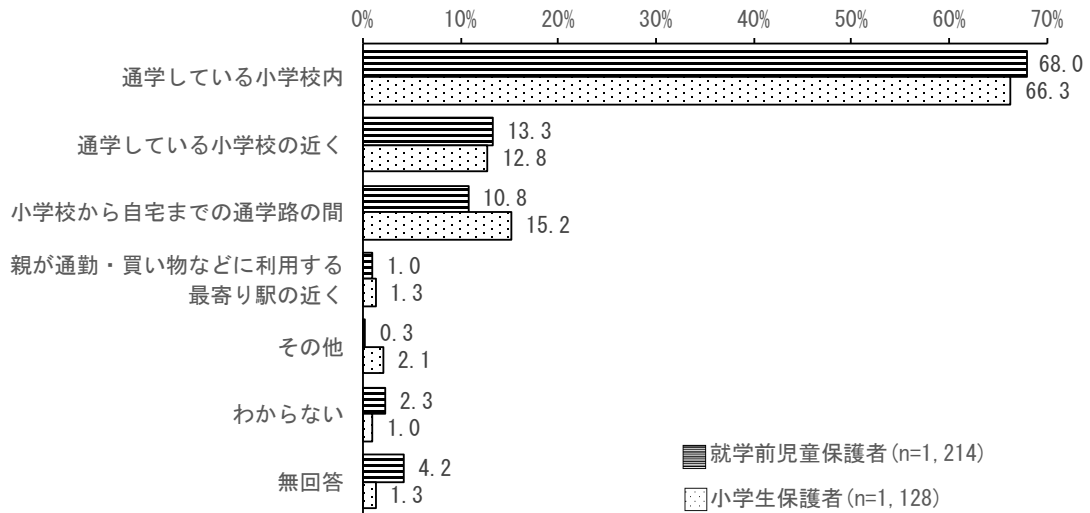
無償化実施後の、3～5歳の平日の定期的な教育・保育事業利用については、「無償化により費用負担が少なくなるなら、幼稚園または認定こども園の幼稚園機能を利用したい」37.1%が最も多く、「無償化により費用負担が少なくなるなら、認可保育所または認定こども園の保育園機能を利用したい」35.4%が続いています。

図表 24 無償化実施後の3～5歳の平日の定期的な教育・保育事業利用（就学前児童保護者）



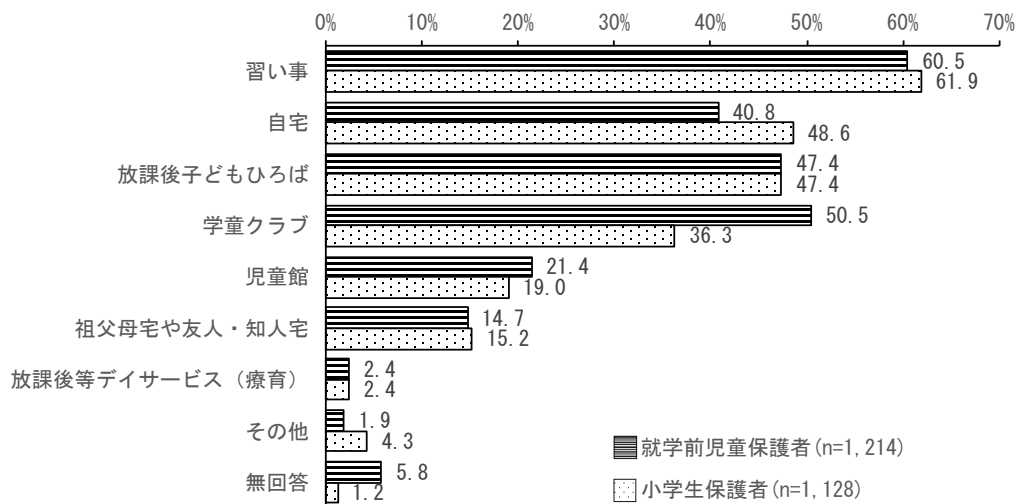
放課後の居場所の希望については、「通学している小学校内」が就学前児童保護者で 68.0%、小学生保護者で 66.3%と最も多くなっています。

図表 25 放課後の居場所の希望（就学前児童保護者・小学生保護者）



保護者が望む小学校低学年（1～3年生）のときの放課後を過ごす場所は、「習い事」が就学前児童保護者で60.5%、小学生保護者で61.9%と最も多くなっています。

図表 26 小学校低学年（1～3年）のときに、放課後を過ごさせたい場所
(就学前児童保護者・小学生保護者) (複数回答)



図表 27 小学校低学年（1～3年）のときに、放課後を過ごさせたい場所
(就学前児童保護者) <母親の就労状況別>

		回答者数 (人)	合計 (n)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	児童館	放課後子どもひろば	学童クラブ	放課後等デイサービス (療育)	その他	無回答
全体		1,213	2,978	40.8	14.7	60.5	21.4	47.5	50.5	2.4	1.9	5.9
母親の就労状況	フルタイム就労、産休・育児休業・介護休業中等ではない	538	1,233	22.1	10.8	51.9	19.5	43.5	72.5	2.8	2.0	4.1
	フルタイム就労、産休・育児休業・介護休業中等である	125	306	28.0	14.4	60.0	20.0	44.8	65.6	1.6	1.6	8.8
	パート・アルバイト等就労、産休・育児休業・介護休業中等ではない	170	441	45.9	14.7	63.5	25.3	54.7	45.3	2.4	2.9	4.7
	パート・アルバイト等就労、産休・育児休業・介護休業中等である	16	35	43.8	18.8	37.5	25.0	43.8	37.5	6.3	—	6.3
	以前は就労していたが、現在は就労していない	335	913	72.8	22.1	75.2	24.2	51.9	16.1	2.1	1.5	6.6
	これまで就労したことがない	20	37	45.0	—	60.0	10.0	50.0	5.0	—	—	15.0

(注) 網掛けは 50%以上のもの
(注) 表側の「不明」「無回答」を除く

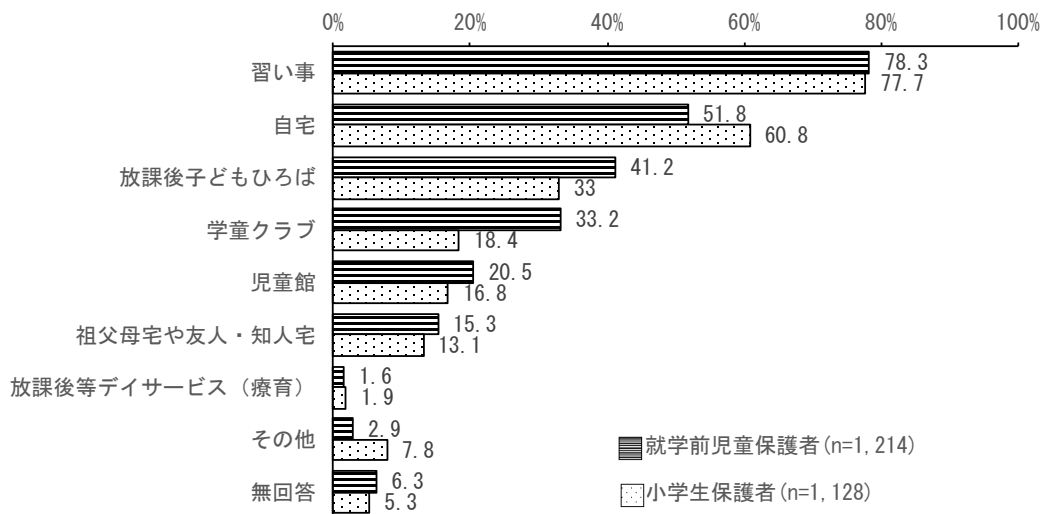
図表 28 小学校低学年（1～3年）のときに、放課後を過ごさせたい場所
(小学生保護者) <母親の就労状況別>

		回答者数 (人)	合計 (n)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	児童館	放課後子どもひろば	学童クラブ	放課後等デイサービス (療育)	その他	無回答
全体		1,126	2,659	48.7	15.2	62.0	18.9	47.4	36.1	2.3	4.3	1.2
母親の就労状況	フルタイム就労、産休・育児休業・介護休業中等ではない	438	917	26.5	11.2	50.0	14.6	33.6	67.4	1.6	3.2	1.4
	フルタイム就労、産休・育児休業・介護休業中等である	9	22	22.2	—	66.7	11.1	44.4	88.9	11.1	—	—
	パート・アルバイト等就労、産休・育児休業・介護休業中等ではない	353	879	55.0	19.3	62.6	24.1	59.2	21.5	2.0	4.2	1.1
	パート・アルバイト等就労、産休・育児休業・介護休業中等である	8	20	62.5	12.5	62.5	25.0	50.0	37.5	—	—	—
	以前は就労していたが、現在は就労していない	277	721	74.4	17.0	78.0	19.5	54.2	6.5	3.6	5.8	1.4
	これまで就労したことがない	31	79	67.7	16.1	80.6	19.4	51.6	9.7	—	9.7	—

(注) 網掛けは 50%以上のもの
(注) 「フルタイム就労、産休・育児休業・介護休業中等である」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中等である」はサンプル数が少ないため参考値とする
(注) 表側の「不明」「無回答」を除く

保護者が望む小学校高学年（4～6年生）のときの放課後を過ごす場所は、「習い事」が就学前児童保護者で78.3%、小学生保護者で77.7%と最も多くなっています。

図表 29 小学校高学年（4～6年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所
(就学前児童保護者・小学生保護者) (複数回答)



図表 30 小学校高学年（4～6年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所
(就学前児童保護者) <母親の就労状況別>

		回答者数 (人)	合計 (n)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	児童館	放課後子どもひろば	学童クラブ	放課後等デイサービス (療育)	その他	無回答
全体		1,213	3,046	51.8	15.3	78.3	20.4	41.2	33.2	1.6	2.9	6.3
母親の就労状況	フルタイム就労、産休・育児休業・介護休業中等ではない	538	1,334	42.9	13.4	76.2	21.0	41.3	44.1	1.9	2.4	4.8
	フルタイム就労、産休・育児休業・介護休業中等である	125	319	45.6	14.4	78.4	23.2	38.4	44.0	0.8	2.4	8.0
	パート・アルバイト等就労、産休・育児休業・介護休業中等ではない	170	425	57.1	11.2	78.2	20.0	45.3	28.8	1.8	2.4	5.3
	パート・アルバイト等就労、産休・育児休業・介護休業中等である	16	41	43.8	18.8	68.8	25.0	50.0	37.5	—	6.3	6.3
	以前は就労していたが、現在は就労していない	335	875	66.6	21.5	84.2	20.0	40.9	15.2	1.8	3.9	7.2
	これまで就労したことがない	20	40	45.0	5.0	65.0	5.0	40.0	20.0	—	5.0	15.0

(注) 網掛けは50%以上のもの
(注) 表側の「不明」「無回答」を除く

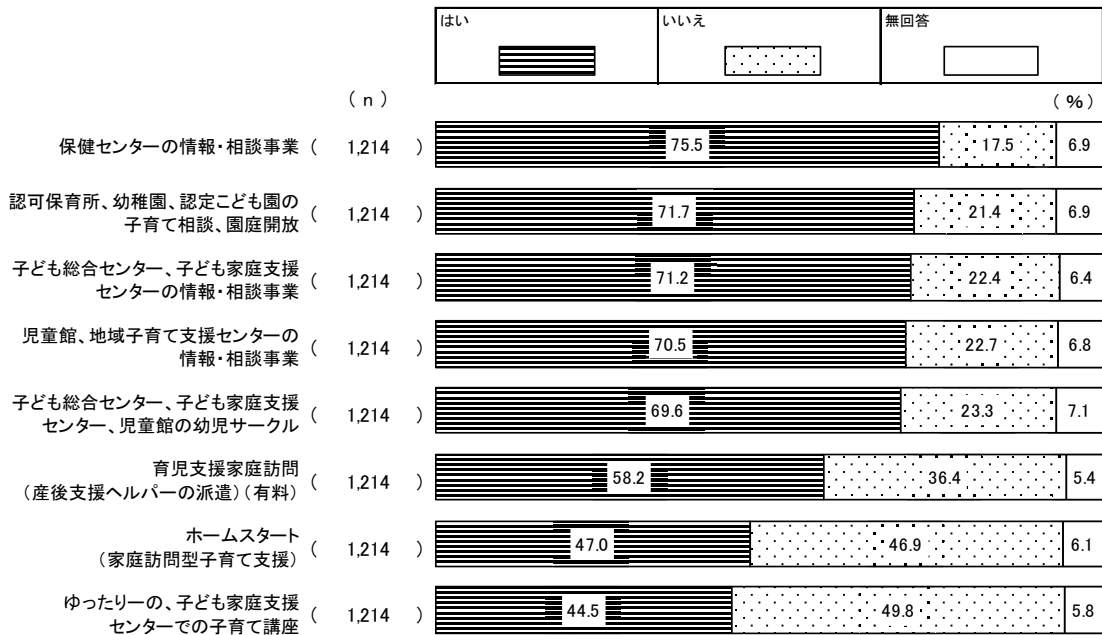
図表 31 小学校高学年（4～6年生）のときに、放課後を過ごさせたい場所
(小学生保護者) <母親の就労状況別>

		回答者数 (人)	合計 (n)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	児童館	放課後子どもひろば	学童クラブ	放課後等デイサービス (療育)	その他	無回答
全体		1,126	2,646	60.9	16.8	77.9	18.4	32.9	13.1	1.9	7.7	5.3
母親の就労状況	フルタイム就労、産休・育児休業・介護休業中等ではない	438	991	50.0	13.9	74.0	18.7	35.8	23.1	0.9	6.2	3.7
	フルタイム就労、産休・育児休業・介護休業中等である	9	26	44.4	22.2	77.8	22.2	55.6	33.3	11.1	11.1	11.1
	パート・アルバイト等就労、産休・育児休業・介護休業中等ではない	353	868	68.0	19.3	79.6	21.0	33.4	8.2	1.4	9.9	5.1
	パート・アルバイト等就労、産休・育児休業・介護休業中等である	8	18	37.5	12.5	62.5	25.0	37.5	25.0	—	12.5	12.5
	以前は就労していたが、現在は就労していない	277	652	70.8	18.1	82.7	15.5	27.8	2.9	3.6	6.9	7.2
	これまで就労したことがない	31	70	64.5	12.9	80.6	9.7	25.8	9.7	—	12.9	9.7

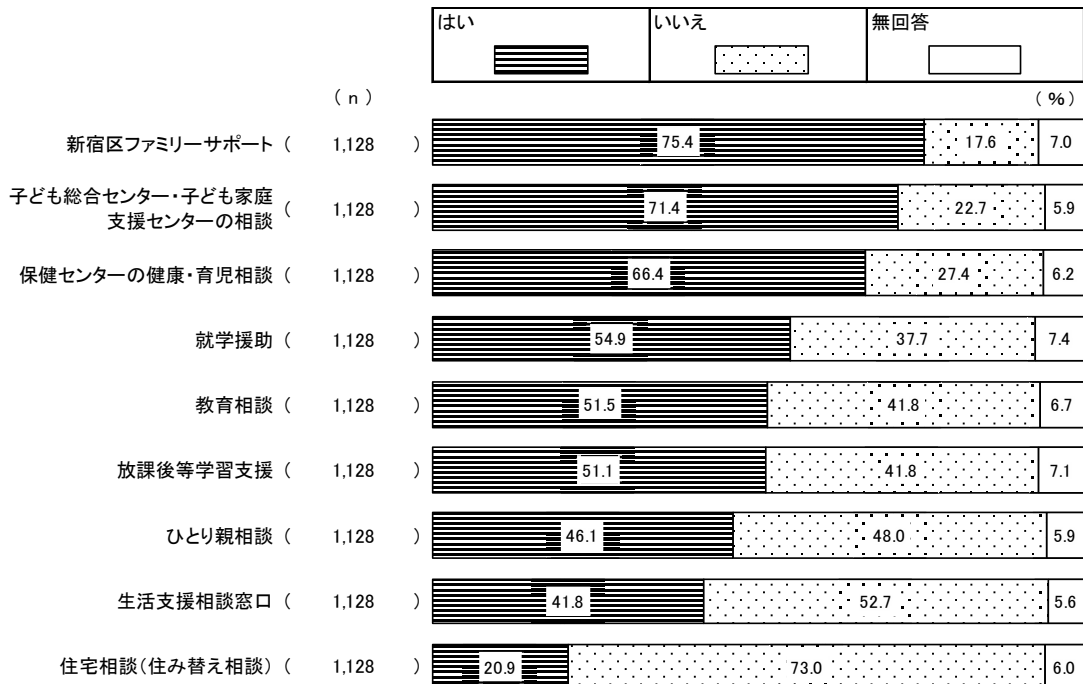
(注) 網掛けは50%以上のもの
(注) 「フルタイム就労、産休、育児休業、介護休業中等である」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中等である」はサンプル数が少ないため参考値とする
(注) 表側の「不明」「無回答」を除く

区が実施している子育て支援サービスや子どもを持つ家庭を対象とした事業について知っているかをそれぞれ尋ねたところ、就学前児童保護者と小学生保護者ではいずれも「はい」の回答率が70%台のものがありました。中学生保護者では最も高いもので50%台にとどまっています。

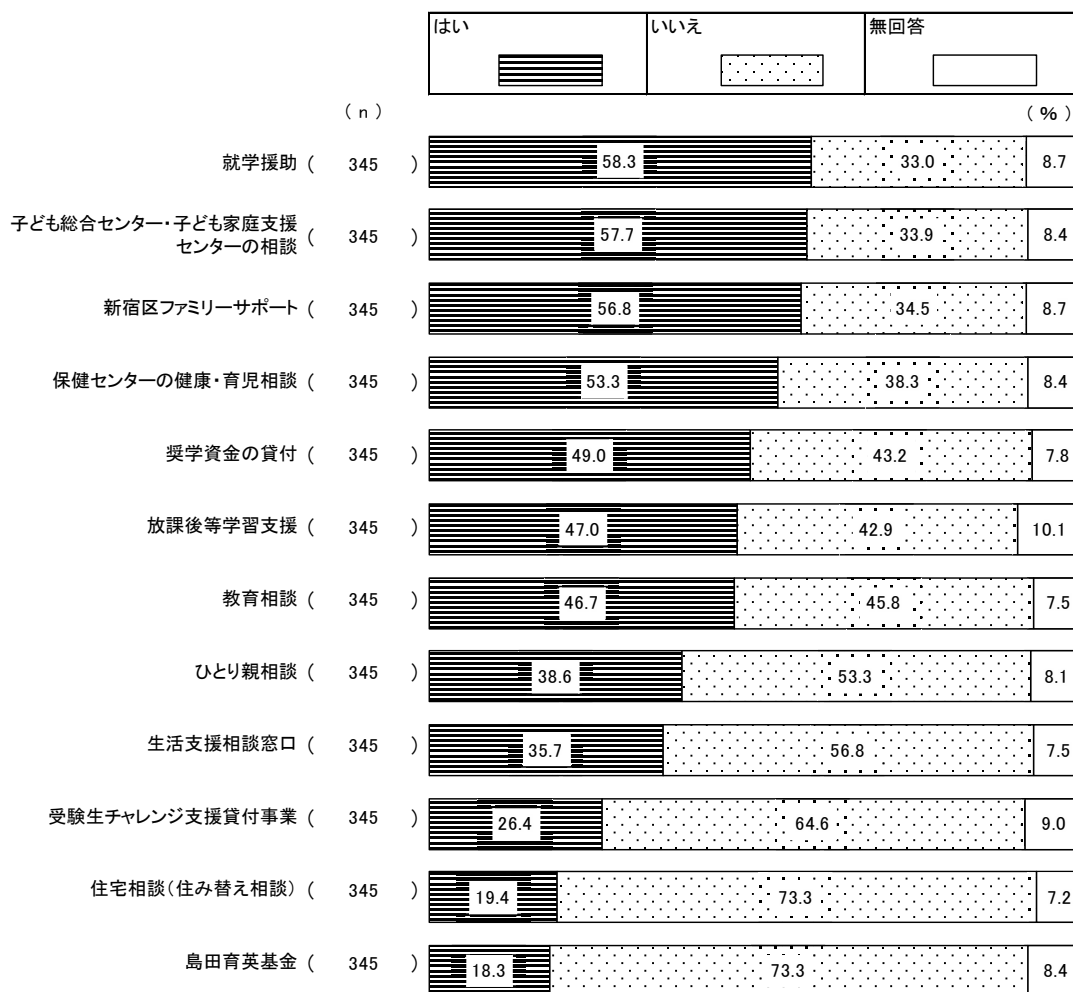
図表 32 区が提供しているサービス・事業を知っているか（就学前児童保護者）



図表 33 区が提供しているサービス・事業を知っているか（小学生保護者）



図表 34 区が提供しているサービス・事業を知っているか（中学生保護者）



15 子育て支援情報をどのように得たいか

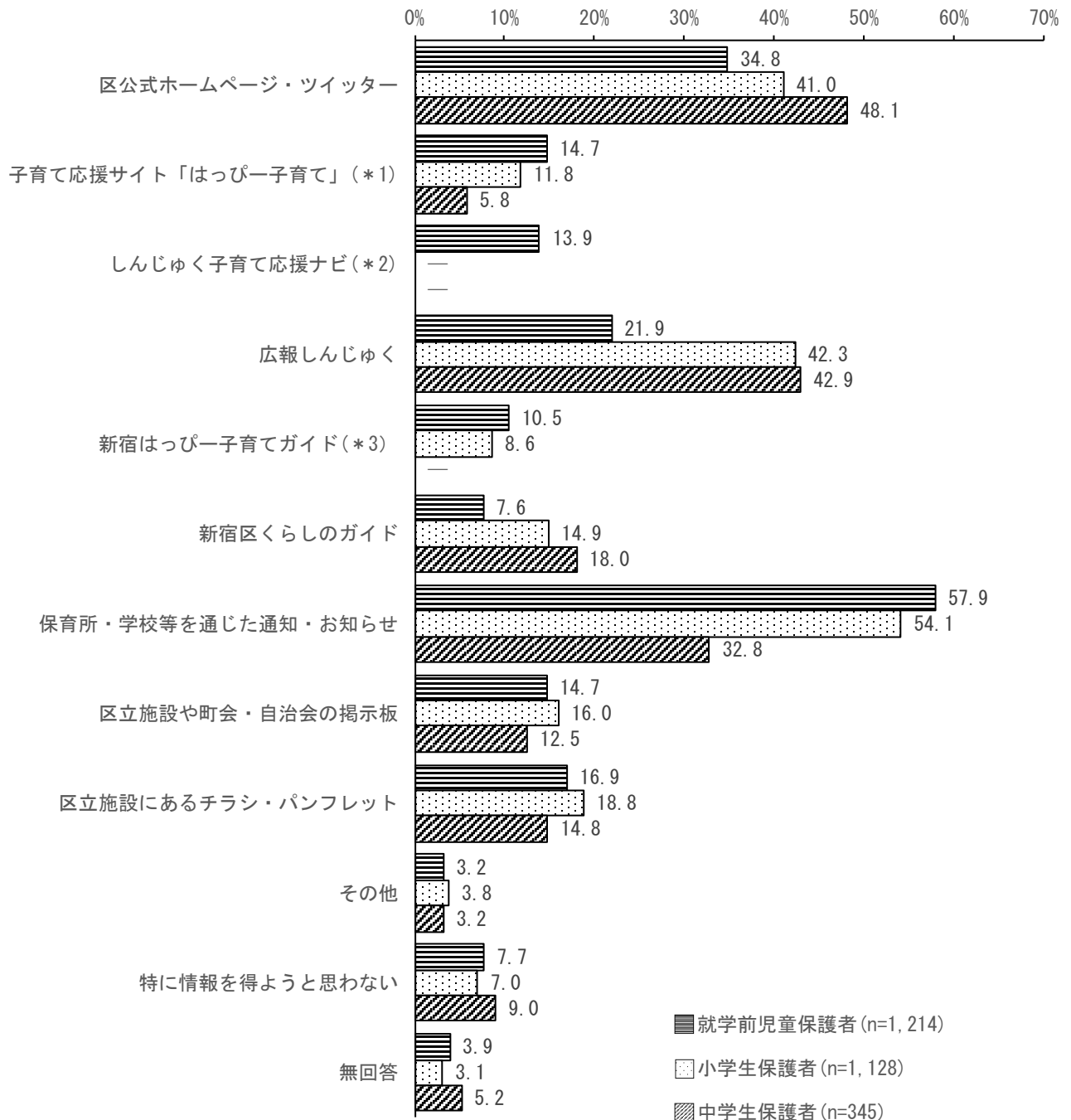
就学前児童
保護者

小学生保護者

中学生保護者

子育て支援情報をどのように得たいかについては、就学前児童保護者と小学生保護者は「保育所・学校等を通じた通知・お知らせ」が最も多く、中学生保護者は、「区公式ホームページ・ツイッター」が最も多くなっています。

図表 35 どのように情報を得たいか（就学前児童保護者・小学生保護者・中学生保護者）（複数回答）



*1：子育て情報を集めた区のWEBサイト
 *2：区が提供しているスマートフォンアプリ（就学前児童対象）
 *3：区が発行している子育て情報誌（就学前児童対象）

◎ 小学5、6年生、小学5、6年生保護者 中学生、中学生保護者、青少年、若者調査結果

1 毎日の楽しさ

小学
5、6年生

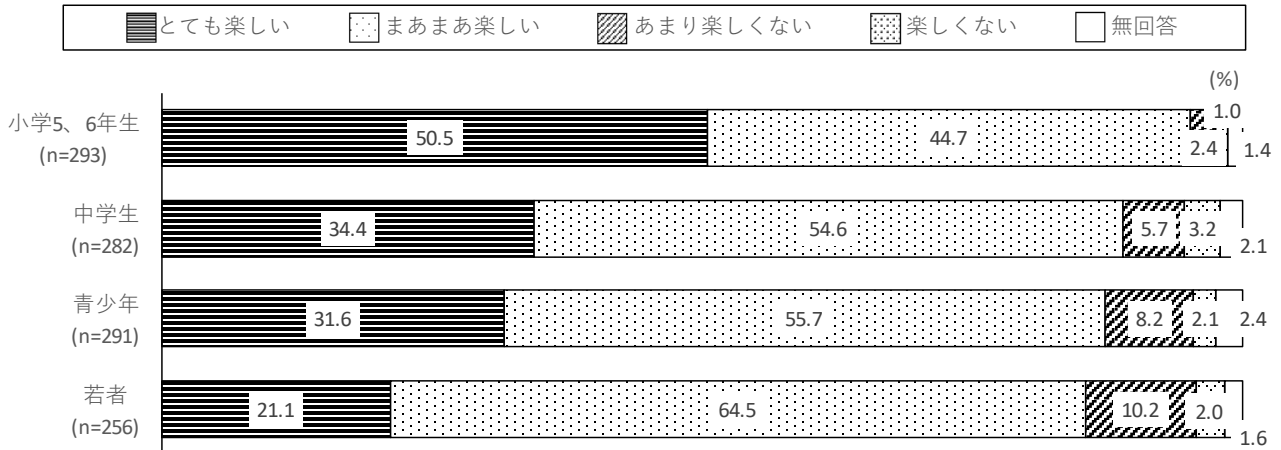
中学生

青少年

若者

毎日の生活の楽しさについて、小学5、6年生は「とても楽しい」が最も多く、中学生、青少年、若者では、「まあまあ楽しい」が最も多くなっています。

図表 36 毎日が楽しいか（小学5、6年生・中学生・青少年・若者）



2 悩んだり困ったりすること

小学
5、6年生

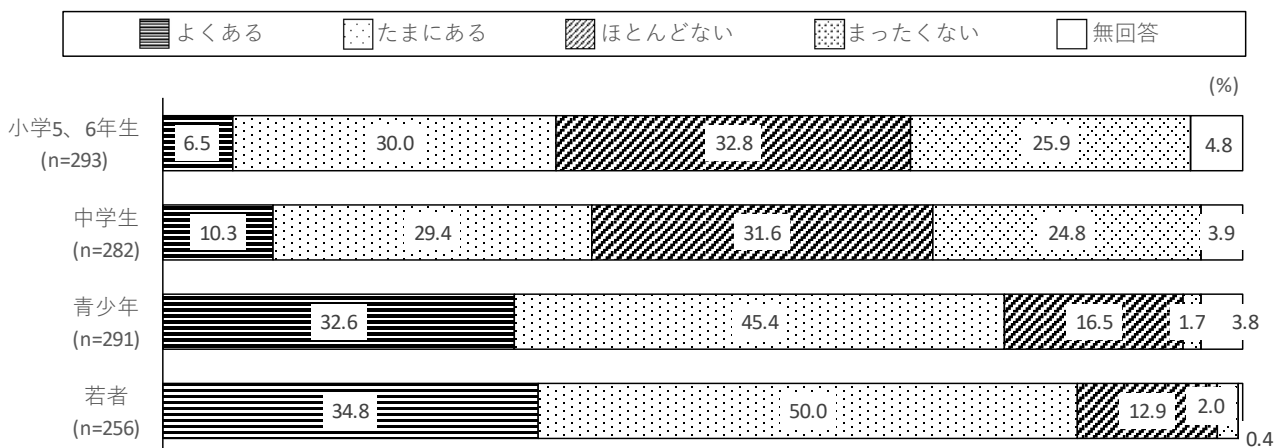
中学生

青少年

若者

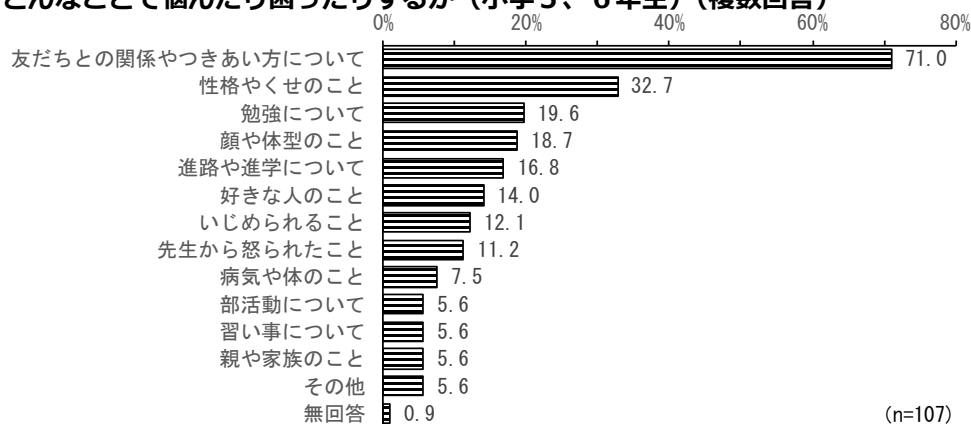
悩んだり困ったりしたことがあるかについては、小学5、6年生と中学生では「ほとんどない」が最も多く、青少年と若者では「たまにある」が最も多くなっています。

図表 37 悩んだり困ったりしたことがあるか（小学5、6年生・中学生・青少年・若者）

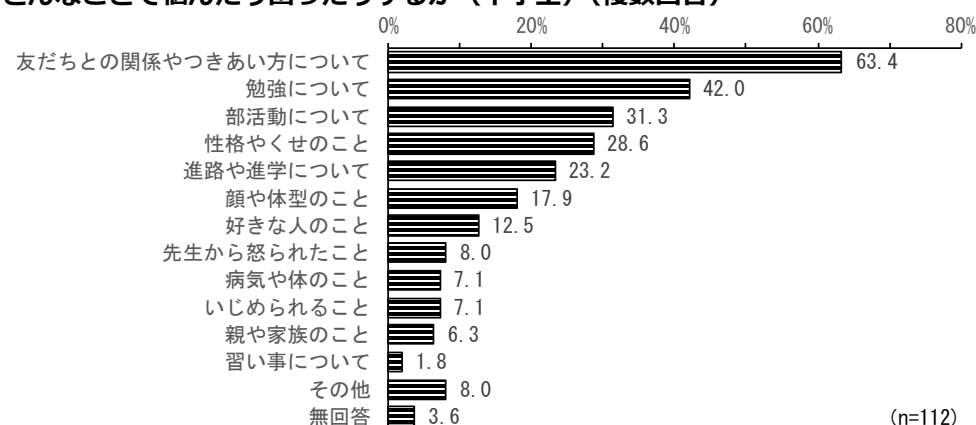


どんなことに悩んだりするかについては、小学5、6年生と中学生では「友だちとの関係やつきあい方について」、青少年では「進路や進学について」、若者では「進路や進学、キャリアについて」が最も多くなっています。

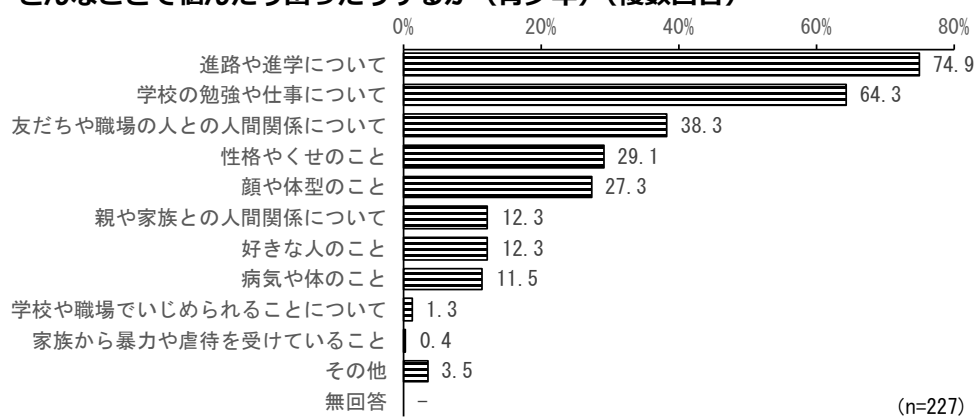
図表 38 どんなことで悩んだり困ったりするか（小学5、6年生）（複数回答）



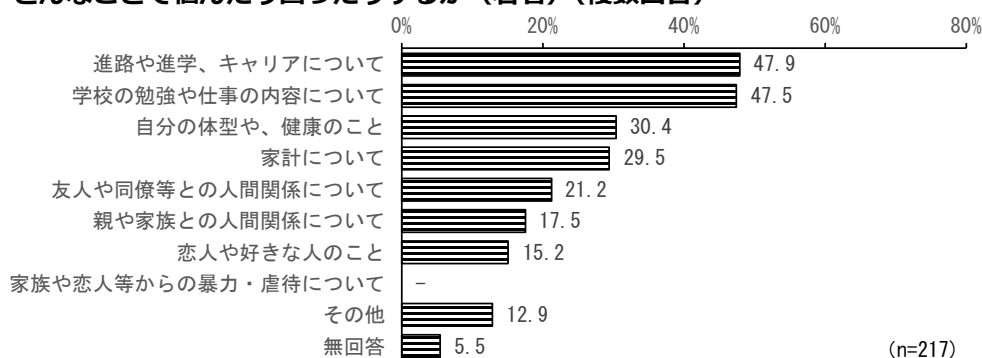
図表 39 どんなことで悩んだり困ったりするか（中学生）（複数回答）



図表 40 どんなことで悩んだり困ったりするか（青少年）（複数回答）



図表 41 どんなことで悩んだり困ったりするか（若者）（複数回答）



3 悩んだときに相談するか

小学
5、6年生

中学生

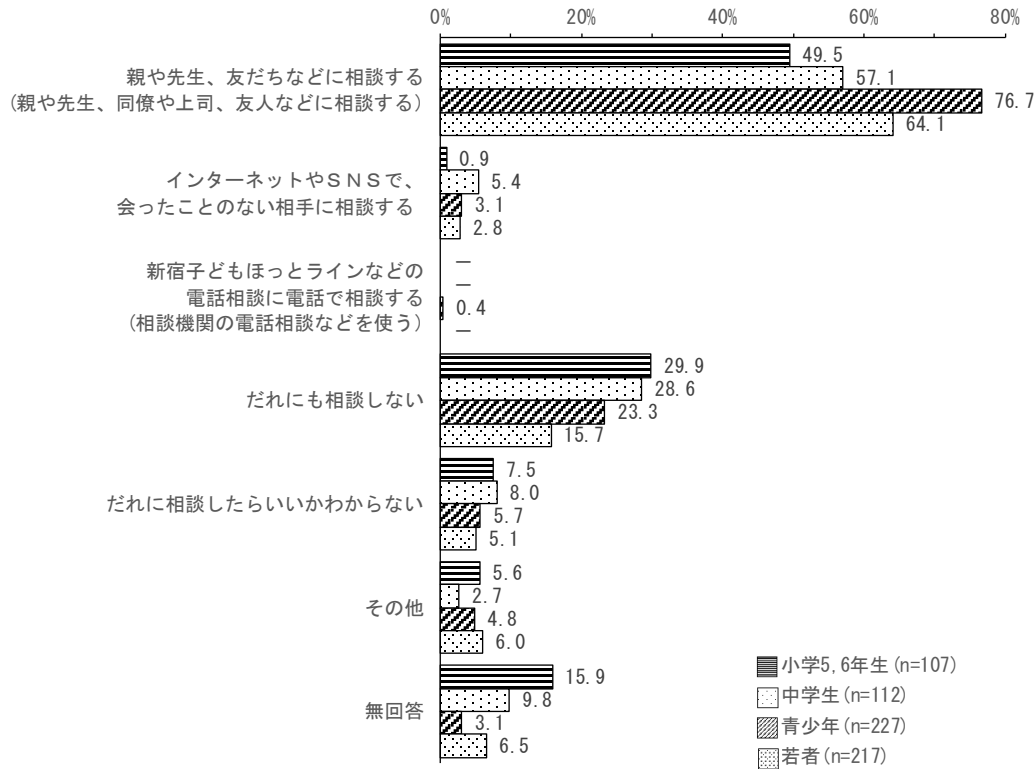
青少年

若者

悩んだり困ったりしたときに誰かに相談するかについては、小学5、6年生、中学生、青少年、若者のいずれも、「親や先生、友人などに相談する」（青少年・若者は「親や先生、同僚や上司、友人などに相談する」）が最も多くなっています。

また、「だれにも相談しない」は、小学5、6年生（29.9%）から中学生（28.6%）、青少年（23.3%）、若者（15.7%）へと、年齢が上がるごとに減少する傾向が見られます。

図表 42 悩んだり困ったりしたときに誰かに相談するか（小学5、6年生・中学生・青少年・若者）



4 学校に行きたくないと感じること

小学
5、6年生

小学5、6年生
保護者

中学生

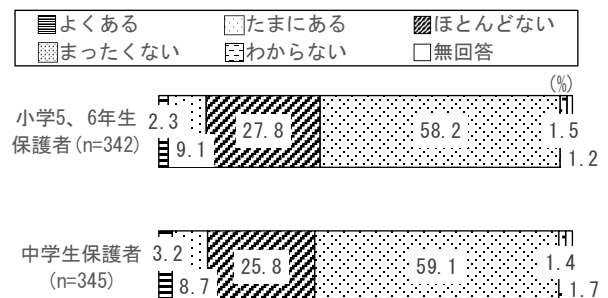
中学生保護者

病気や体調不良以外の理由で学校に行きたくないと感じること（保護者については、子どもが学校に行きたがらないこと）について、「よくある」と「たまにある」との合計は、小学5、6年生で26.6%、小学生5、6年生保護者で11.4%、中学生で36.5%、中学生保護者で11.9%となり、小学5、6年生、中学生のいずれも、子どもの回答が保護者の回答を上回っています。

図表 43 学校に行きたくないことがあるか（小学5、6年生・中学生）



図表 44 子どもが学校に行きたがらないことがあるか（小学5、6年生保護者・中学生保護者）



5 基本的な生活習慣について

小学
5、6年生

小学5、6年生
保護者

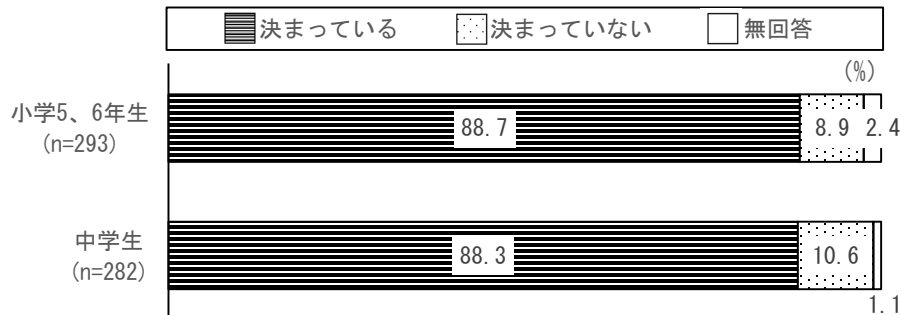
中学生

中学生保護者

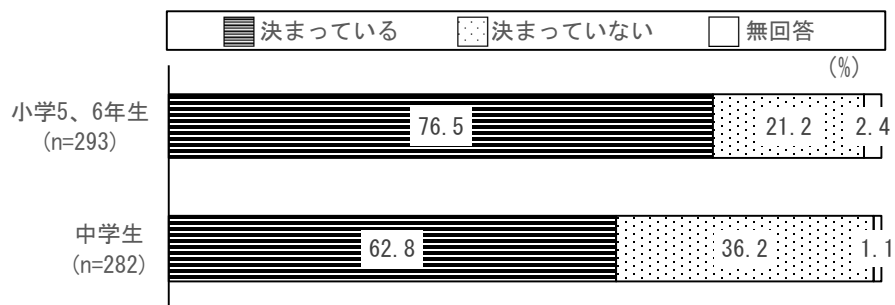
学校がある平日の起床・就寝について、起床時間が「決まっている」は小学5、6年生で88.7%、中学生で88.3%、就寝時間が「決まっている」は小学5、6年生で76.5%、中学生で62.8%となっています。

学校がある平日の子どもの起床・就寝についての保護者の回答では、起床時間が「決まっている」は小学5、6年生保護者で94.7%、中学生保護者で95.7%、就寝時間が「決まっている」は小学5、6年生保護者で85.4%、中学生保護者で77.7%となっています。

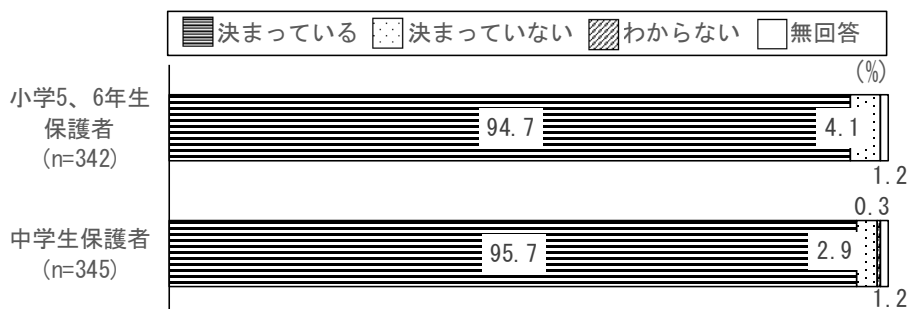
図表 45 平日の起床時間が決まっているか (小学5、6年生・中学生)



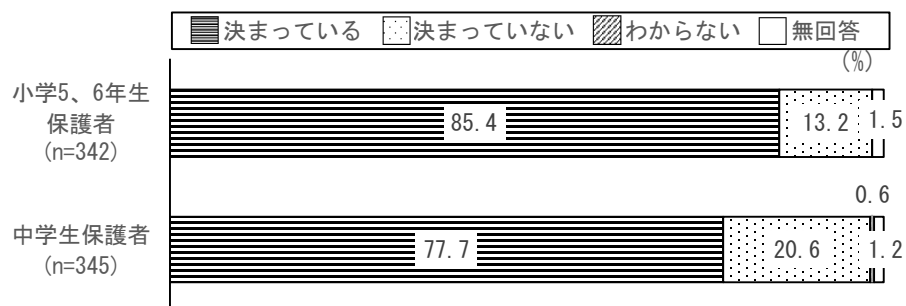
図表 46 平日の就寝時間が決まっているか (小学5、6年生・中学生)



図表 47 子どもの平日の起床時間が決まっているか (小学5、6年生保護者・中学生保護者)



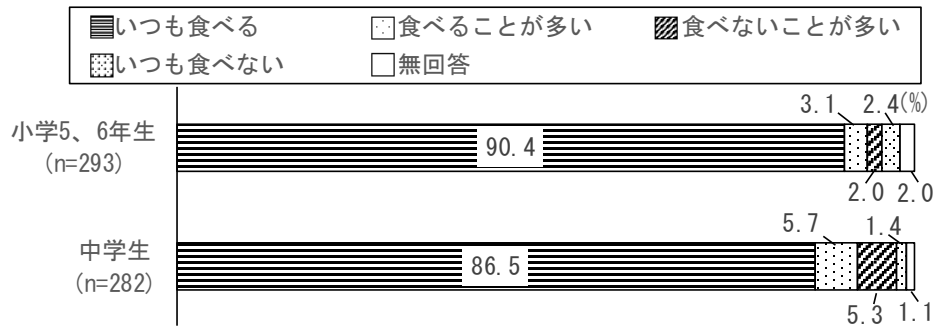
図表 48 子どもの平日の就寝時間が決まっているか (小学5、6年生保護者・中学生保護者)



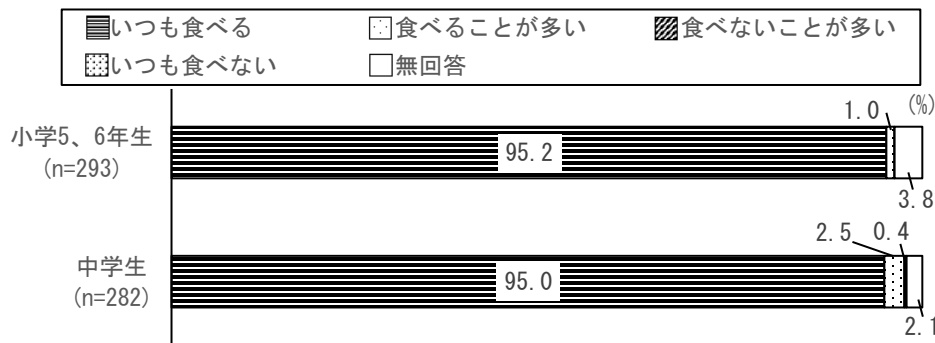
学校がある平日の朝・夕の食事について、朝食を「いつも食べる」は小学5、6年生で90.4%、中学生で86.5%、夕食を「いつも食べる」は小学5、6年生で95.2%、中学生で95.0%となっています。

学校がある平日に子どもが朝・夕の食事を食べるかについての保護者の回答では、朝食を「いつも食べる」は小学5、6年生保護者で93.3%、中学生保護者で87.2%、夕食を「いつも食べる」は小学5、6年生保護者で98.5%、中学生保護者で96.5%となっています。

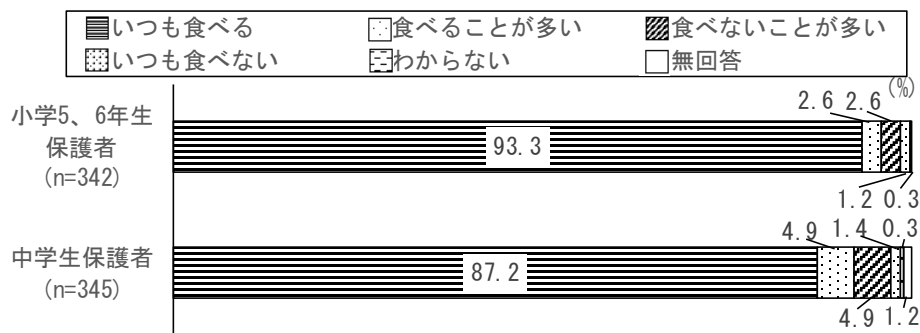
図表 49 朝食を食べているか (小学5、6年生・中学生)



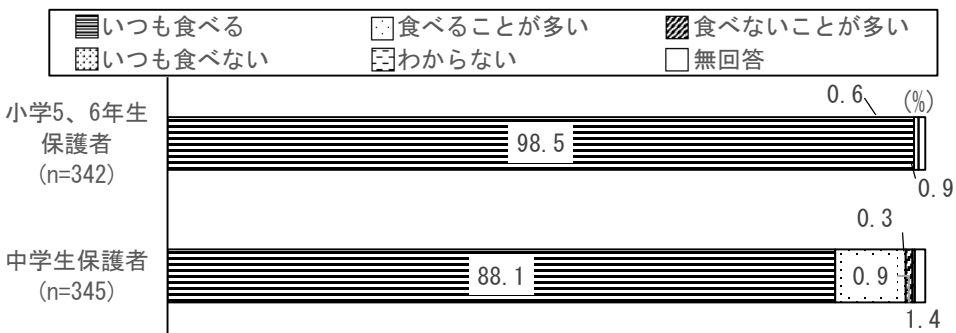
図表 50 夕食を食べているか (小学5、6年生・中学生)



図表 51 子どもが朝食を食べているか (小学5、6年生保護者・中学生保護者)



図表 52 子どもが夕食を食べているか (小学5、6年生保護者・中学生保護者)



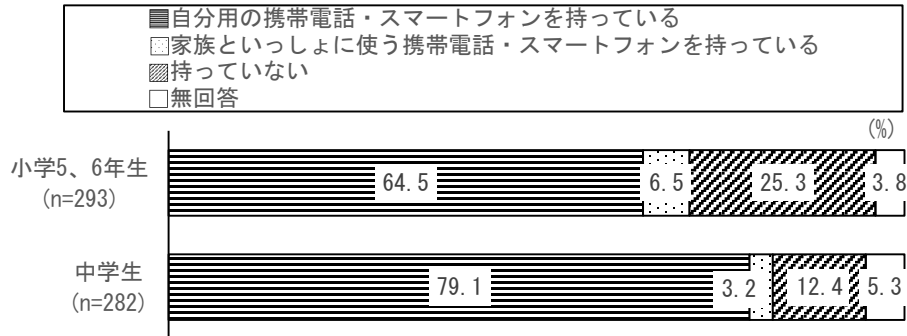
6 携帯電話・スマートフォンの所有状況

小学
5、6年生

中学生

「自分用の携帯電話やスマートフォンを持っている」割合は、小学5、6年生で64.5%、中学生で79.1%となっています。

図表 53 携帯電話・スマートフォンの所有状況（小学5、6年生・中学生）



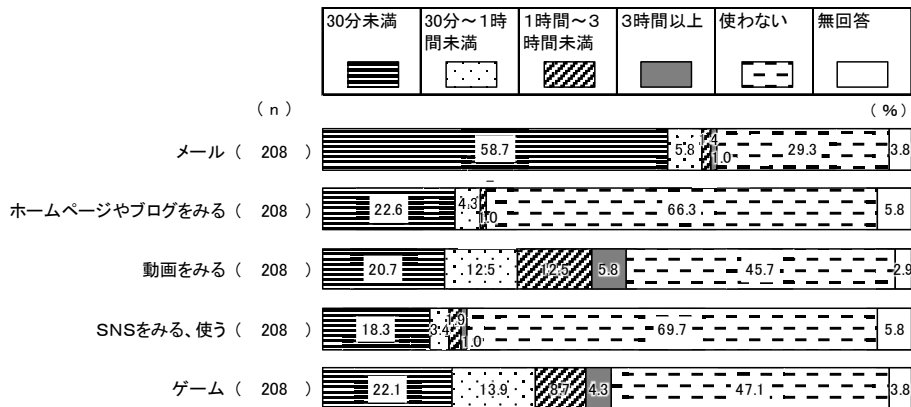
7 携帯電話・スマートフォンの使用時間

小学
5、6年生

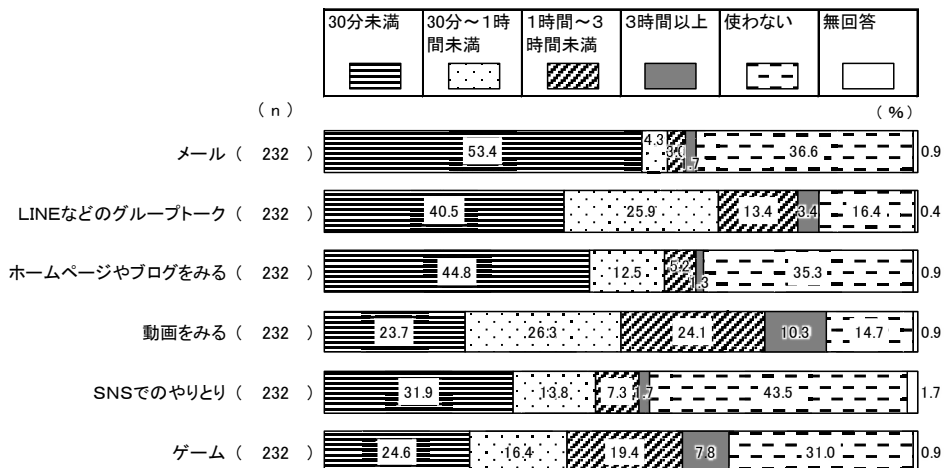
中学生

携帯電話・スマートフォンの1日当たりの使用時間で「3時間以上」の回答があったのは、小学5、6年生では「メール」1.0%、「動画をみる」5.8%、「SNSをみる、使う」1.0%、「ゲーム」4.3%、中学生では「メール」1.7%、「LINEなどのグループトーク」3.4%、「ホームページやブログをみる」1.3%、「動画をみる」10.3%、「SNSでのやりとり」1.7%、「ゲーム」7.8%となっています。

図表 54 携帯電話・スマートフォンの1日当たり使用時間（小学5、6年生）

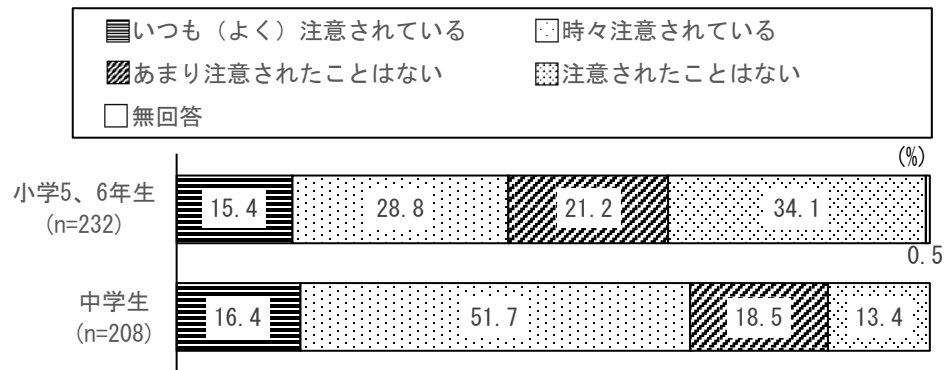


図表 55 携帯電話・スマートフォンの1日当たり使用時間（中学生）



親などの家族から携帯電話・スマートフォンの使用時間について注意されるかについては、小学5、6年生では「注意されたことはない」34.1%が、中学生では「時々注意されることがある」51.7%が最も多くなっています。

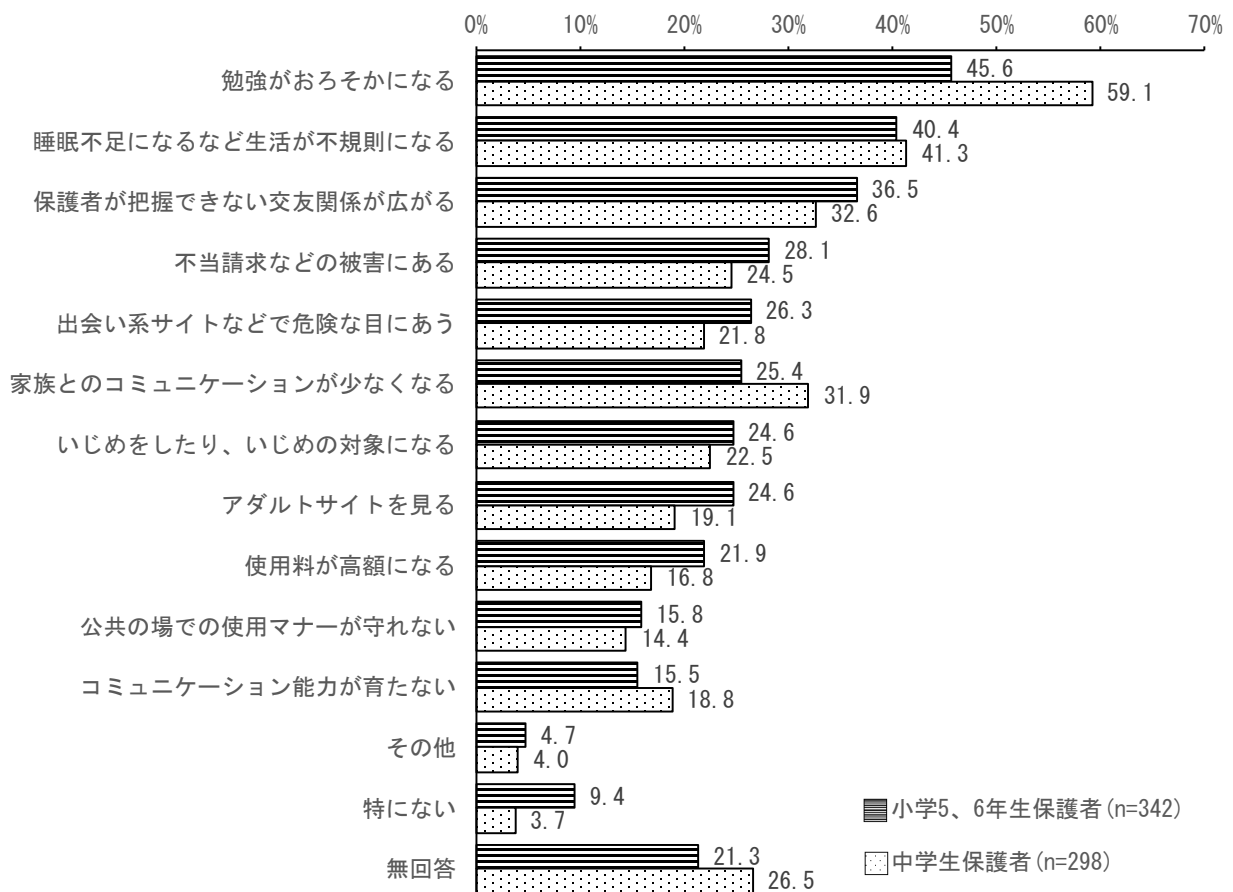
図表 56 携帯電話・スマートフォンの使用時間を注意されるか（小学5、6年生・中学生）



8 子どものインターネット利用、携帯電話・スマートフォン等の使用で心配なこと 小学5、6年生保護者 中学生保護者

子どものインターネット利用や携帯電話・スマートフォンについて不安や心配に思うことは、「勉強がおろそかになる」が小学5、6年生保護者で45.6%、中学生保護者で59.1%と最も多く、「睡眠不足になるなど生活が不規則になる」が小学5、6年生保護者で40.4%、中学生保護者で41.3%と続いています。

図表 57 インターネット利用や携帯電話・スマートフォン等の使用に関する不安や心配
(小学5、6年生保護者・中学生保護者)



9 近所の人や地域との関わり

小学
5、6年生

中学生

青少年

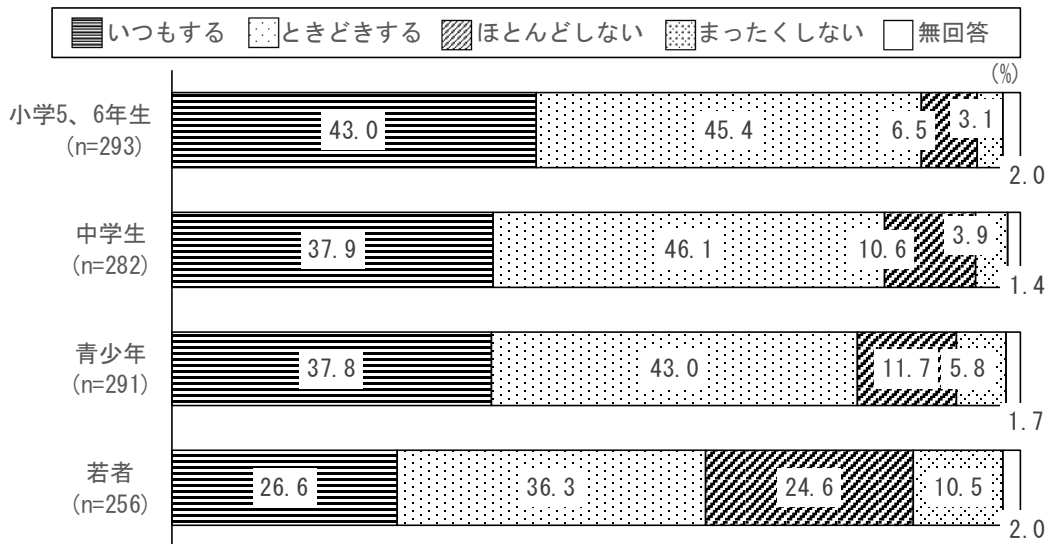
若者

近所の人や同じ建物に住んでいる人とあいさつや話をするかについては、「ときどきする」が小学5、6年生で45.4%、中学生で46.1%、青少年で43.0%、若者で36.3%と最も多くなっています。

また、「ほとんどしない」と「まったくしない」の合計は、小学5、6年生（9.6%）、中学生（14.5%）、青少年（17.5%）、若者（35.1%）と、年齢が上がるにつれて増加する傾向が見られます。

図表 58 近所の人や同じ建物に住んでいる人とあいさつや話をするか

(小学5、6年生・中学生・青少年・若者)



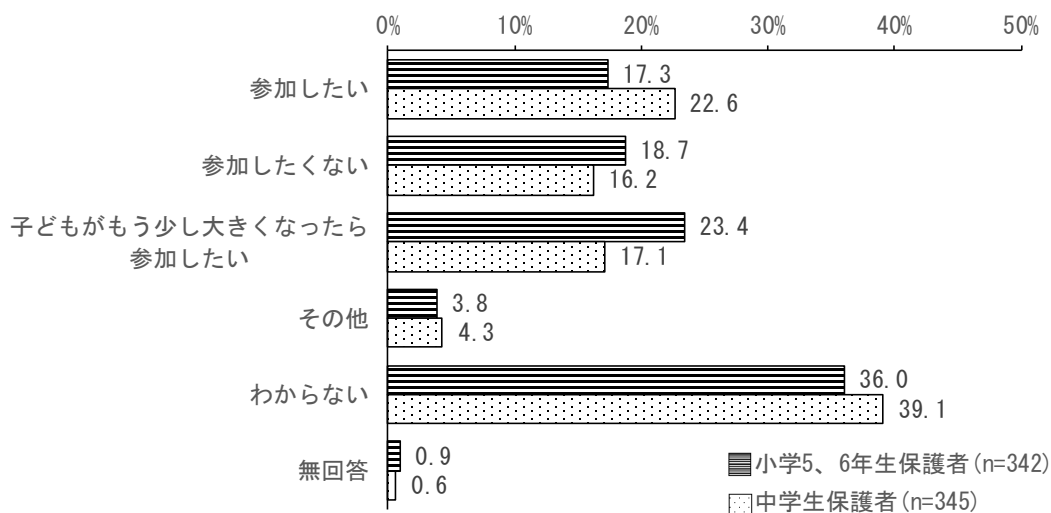
10 子育て支援の地域活動への参加意向

小学5、6年生
保護者

中学生
保護者

子育て経験を活かせる場や機会ができた場合の子育て支援の地域活動への参加意向については、「わからない」が小学5、6年生保護者で36.0%、中学生保護者で39.1%と最も多くなっています。小学5、6年生保護者では「子どもがもう少し大きくなったら参加したい」23.4%が、中学生保護者は「参加したい」22.6%が続いています。

図表 59 子育て経験を活かした子育て支援の地域活動への参加意向



11 将来について

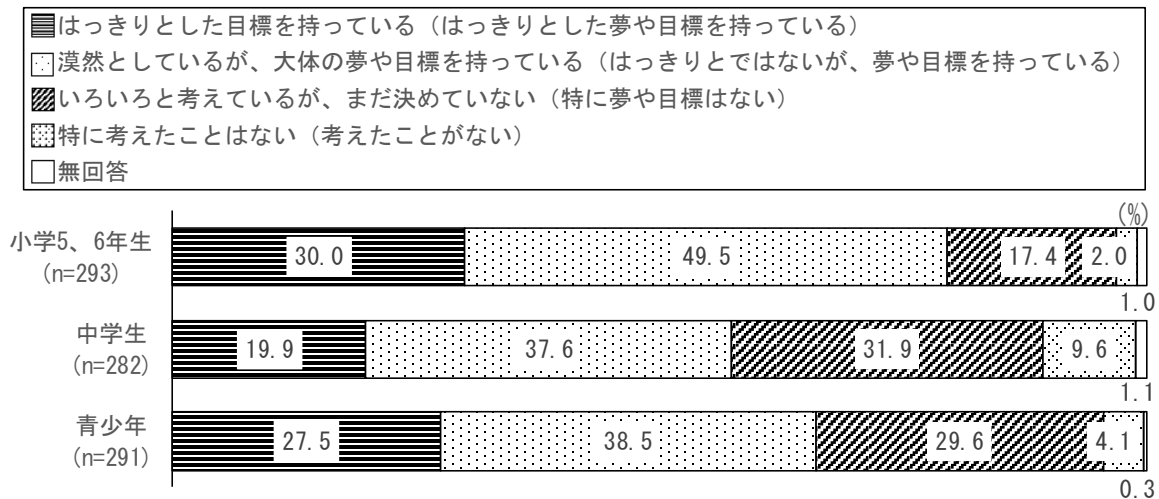
小学
5、6年生

中学生

青少年

将来の目標を持っているかについては、「漠然としているが、大体の夢や目標を持っている」（小学5、6年生は「はっきりとではないが、夢や目標を持っている」）が、小学5、6年生で49.5%、中学生で37.6%、青少年で38.5%と最も多くなっています。

図表 60 将来の目標を持っているか（小学5、6年生・中学生・青少年）

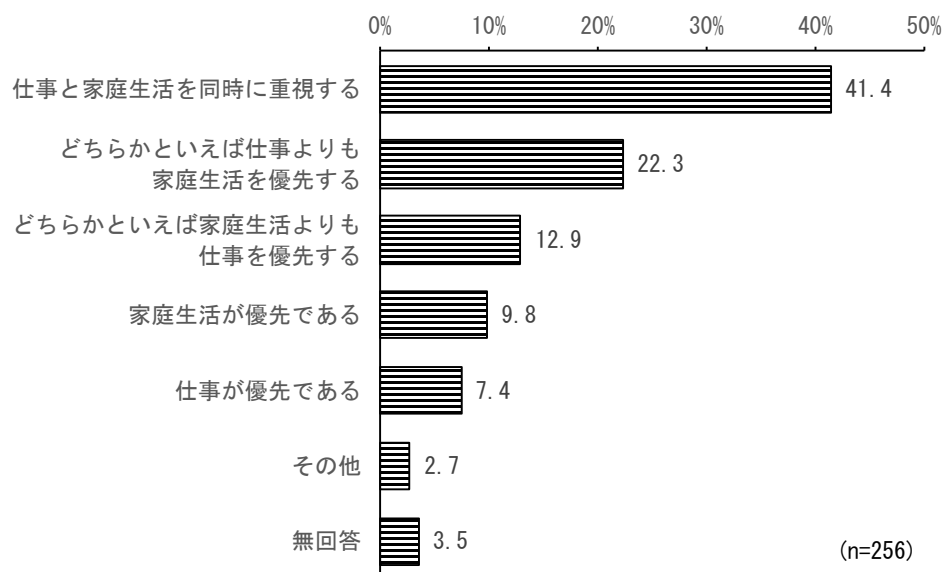


12 仕事と生活のバランスについて

若者

仕事と生活のバランスについての考えは、「仕事と家庭生活を同時に重視する」41.4%が最も多く、「どちらかといえば仕事よりも家庭生活を優先する」22.3%が続いています。

図表 61 仕事と生活のバランスについての考え（若者）



13 新宿区への愛着度

小学
5、6年生

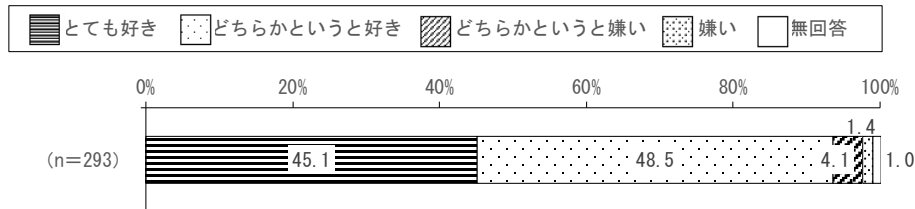
中学生

青少年

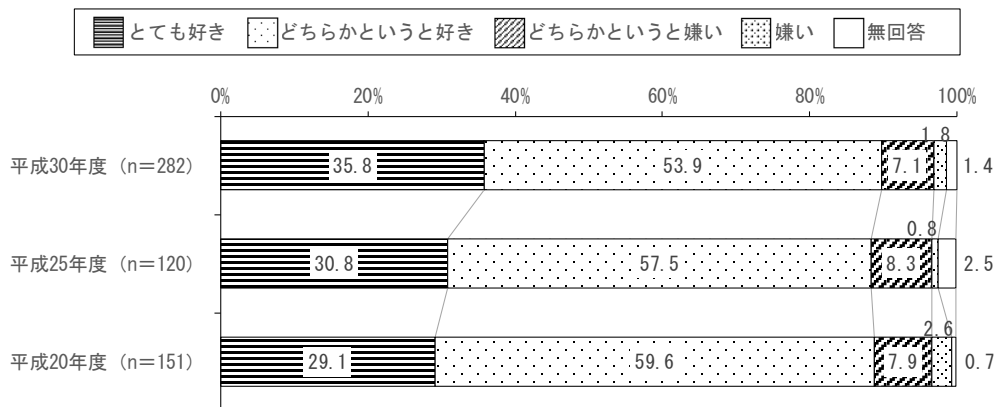
若者

新宿区への愛着度については、「とても好き」と「どちらかという好き」の合計は、小学5、6年生で93.6%、中学生で89.7%、青少年で92.4%、若者で88.7%となっており、中学生、青少年、若者はいずれも前回、前々回調査と比較して多くなっています。

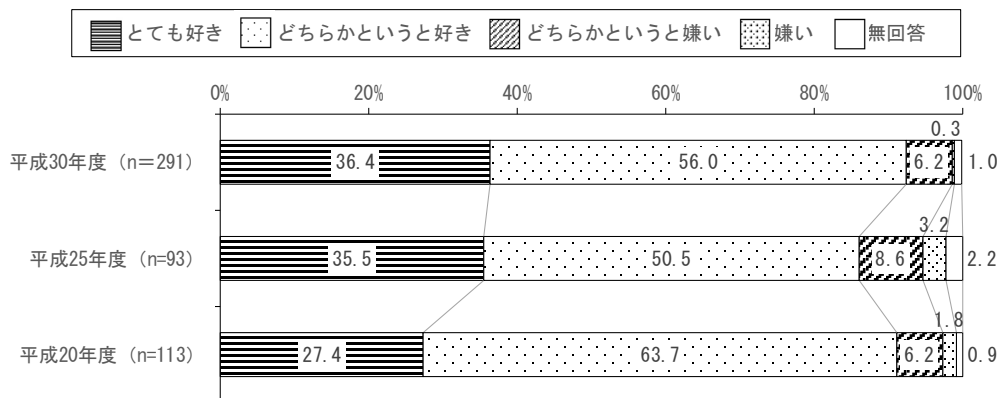
図表 62 新宿区への愛着度（小学5、6年生）



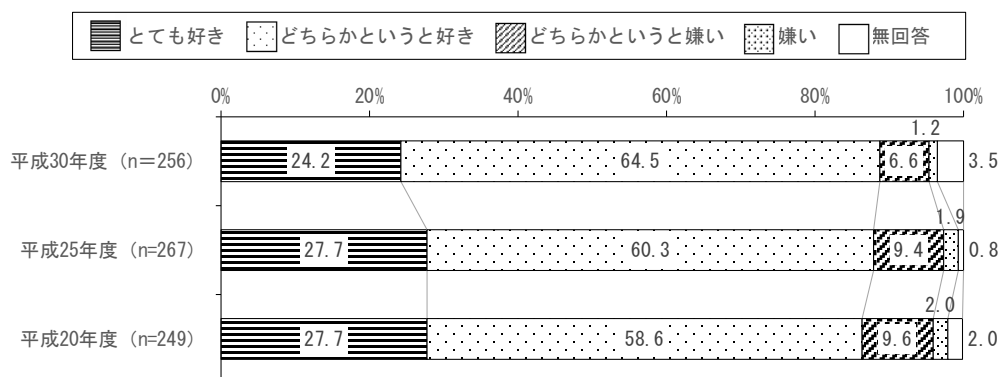
図表 63 新宿区への愛着度（中学生）＜経年比較＞



図表 64 新宿区への愛着度（青少年）＜経年比較＞



図表 65 新宿区への愛着度（若者）＜経年比較＞



この印刷物は、業務委託により 2,500 部印刷製本しています。その経費として、1 部あたり 50 円（税別）がかかっています。ただし、編集時の人件費等は含んでいません。

新宿区次世代育成支援に関する調査報告書 概要版

印刷物作成番号

2018-9-3001

発行年月 平成31（2019）年3月

編集・発行 新宿区子ども家庭部子ども家庭課

〒160-8484

新宿区歌舞伎町一丁目4番1号

電話03（5273）4260

新宿区は、環境への負担を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。
本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。